

決算に係る主要な施策の成果

平成22年度

伊勢市

目 次

○ 決算に係る主要な施策の成果

一 一般会計

議 会 費	1
総 務 費	2
民 生 費	15
衛 生 費	28
労 働 費	37
農 林 水 産 業 費	40
商 工 費	48
観 光 費	50
土 木 費	53
消 防 費	66
教 育 費	70
災 害 復 旧 費	86
公 債 費	89
国民健康保険特別会計	90
老人保健医療特別会計	93
後期高齢者医療特別会計	94
介護保険特別会計	95
費目別不納欠損の状況	100

主 要 な 施 策 の 成 果

【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予算現額 306,508 千円
 決算額 299,771 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				299,771

議会事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 政務調査費	5,393	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	113
2. 議会広報経費	9,735	○「いせ市議会だより」発行 市議会活動を市民に広報するため、「いせ市議会だより」を発行、各戸配布した。 年間発行 4回 ○市議会放映 市議会活動を市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をCATVで録画放送した。 会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放送 本会議放映 1日2回 延べ21日 予算・決算特別委員会放映 1日2回 延べ13日 ○会議録検索システムインターネット配信 市議会本会議の会議録をインターネットを通じて配信し、情報公開の充実を図った。	113

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 2,015,452 千円
 決算額 2,000,649 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
117	6,829		14,000	1,979,703

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 行財政改革推進事業	180	第一次行財政改革大綱の計画期間が終了したことに伴い、第二次行財政改革大綱とその実施計画を策定した。また、策定にあたり伊勢市行政改革推進委員会を開催した。	115

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域自治推進事業	11,335	「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、各小学校区に「地区担当職員」を配置し、地域自らのまちづくりを支援するとともに、その取り組みに対する地域住民の理解促進と気運の醸成を図った。また、地域リーダー養成のための研修会や市民の自治意識の啓発のための講演会を開催した。	115

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 5,897 千円
 決算額 5,785 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			123	5,662

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	5,785	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 ①一般研修(人材育成カレッジ除く) 研修数11回 受講者数 985名 ②一般研修(人材育成カレッジ) 研修数40回 受講者数 934名 ③派遣研修 研修数41回 受講者数 81名 (2) 研修評価(受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 68.7% 一般研修 65.8% 派遣研修 89.6% ②意識向上度 研修全体 58.3% 一般研修 53.7% 派遣研修 81.8%	117

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 43,929 千円
 決算額 42,421 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,220	41,201

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 広報いせ発行事業	19,621	「広報いせ」(毎月1日発行)と「伊勢市おしらせ版」(毎月15日発行)を定期的に発行し、市政の方針や事業計画の概要、市の行事予定などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	頁 117
2. CATV広報いせ放送事業	15,874	地域に根ざした行政情報番組「伊勢市テレビ広報『みてきて伊勢』」を制作し放送した。 行政情報だけでなく、市民活動センターからの情報や伊勢市社会福祉協議会登録のボランティア団体の紹介、市民が参加した行事やできごとを伝える「まちの話題」を放送した。 また、平成23年1月から、特集コーナーの進行役に地元で活動しているタレントを起用し、分かりやすく伝わるようにした。	117
3. ケーブルテレビ加入促進事業補助金	2,409	ケーブルテレビの加入促進を目的に、新たにケーブルテレビに加入する市民や自治会等に、ケーブルテレビ加入促進補助金を交付した。 交付金額 宅内工事費 2,409,000円(個人 5,000円×480件、自治会等 9,000円×1件)	117
4. 市政モニター事業	378	市民等の意見を市のホームページから集約、市の施策を検討する上での基礎資料とするため、ホームページでアンケートを行った。 6回実施し、494人から回答があった。	117
5. 各種相談事業	2,215	市民からの多様な相談に対応するため、法律・行政・交通事故・登記などの市民相談を実施した。 法律相談については、毎週月曜日に実施し、利用者は343人(1回平均6.7人)であった。	117
6. 市民意向調査事業	1,890	市の政策・課題に関するアンケート調査を電話で実施し、市の政策を検討するうえでの基礎資料を作成した。 調査回数 3回	117

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 371,634 千円
 決算額 346,237 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,541			935	321,761

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 住民情報システム管理経費	228,142	住民基本台帳、税、及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムの貸借、保守管理、及び各業務に係る計算処理や帳票出力処理等の業務を委託し、事務の迅速化と効率化を図った。 また、住民情報系ネットワークにおいて、保守サポートの終了に伴い機器類を更新し、ネットワークの安定稼働を図った。	頁 119
2. 行政情報システム管理経費	104,059	文書管理・財務会計・出退勤・人事給与・グループウェア等の内部情報系システムやインターネット系システムならびにネットワークシステムの貸借及び保守管理を行い、各システムの安定稼働を図った。	119
3. ITセキュリティ対策事業	7,153	旧式の処理能力が低いクライアントパソコンを最新機種に置き換え、脆弱性に対するセキュリティの向上と事務処理能力の向上を図った。また、ウィルス対策ソフトを最新のバージョンに更新し、ウィルスに対するセキュリティレベル確保に努めた。 ウィルス対策ソフトのメモリ不足による動作不良を防ぐため、クライアントパソコン用増設メモリを購入し、順次増設を行った。 各クライアントパソコンにおけるウィルス対策ソフトの状態を一元管理する、管理システムを構築するために必要なOSライセンスを購入した。	119

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 9. 企画費

(単位 千円)

予算現額 9,454 千円
 決算額 7,225 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				7,225

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 総合計画推進事業	634	<p>平成20年～24年を計画期間とする「みんなのまちの計画（伊勢市総合計画）」の実現を目指し、必要となる取り組みの検討・実践、及び実現状況の確認を行った。</p> <p>(1) 伊勢市まちづくり市民会議の運営（分科会・運営委員会の開催）</p> <p>①自治と行政のしくみ 開催14回：延べ参加者 93人 ②人権・教育・文化 開催11回：延べ参加者102人 ③環境 開催12回：延べ参加者207人 ④生活・健康・福祉 開催11回：延べ参加者115人 ⑤防災・防犯 開催 6回：延べ参加者 54人 ⑥産業 開催12回：延べ参加者 77人</p> <p>(2) まちづくり市民会議全体会の開催 まちづくり市民会議全体会及びまちづくり講演会を開催した。</p> <p>(3) 市民アンケート 計画に定める指標の現状の値を把握するため、市民を対象としたアンケート調査を行った。 期 間：平成23年1月14日～平成23年2月1日 対象者：市内在住の15歳以上の方から無作為抽出4,000名（1,000名×4種類） 調査票： 「生活・健康・福祉」、「防災・防犯＋交流都市基盤」 「人権・教育・文化＋環境」、「自治と行政のしくみ＋産業」 回答率：44.3%（回収数 1,770通）</p>	119
2. 首都圏情報発信事業	3,218	<p>企業誘致、観光誘客等を推進するため、首都圏における情報発信・収集機能を充実させることを目的とし、首都圏在住で幅広い人脈を持つ伊勢市にゆかりの深い方（特命員）のご協力をいただき、首都圏の企業、団体、個人等による「ふるさと人材ネットワーク」を形成し、そのネットワークを活用した企業誘致、観光の振興等のための情報発信・収集に取り組んだ。</p> <p>・活動日数：213日 ・面談数：523回訪問 ・特命員によるふるさと納税：申込11件</p>	119

3. 宮川流域連携事業 負担金	700	「宮川と共に生きる会(平成9年1月28日設立：1市9町4村 ※当時)」を発展的に解消して設立した、宮川流域ルネッサンス協議会(平成12年6月9日設立：1市6町、三重県、国関係機関、宮川流域案内人の会)に加入し、宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与する活動を実施した。 ・宮川流域子ども川サミットの開催 ・宮川親子デイキャンプの開催 ・守ろう清流！宮川流域いっせいチェックの実施 ・流域案内人等への活動支援及び資質向上への支援 ・流域内外への情報発信 ①宮川フォーラム2011の開催 ②宮川プロジェクト活動報告・交流会の開催 ・宮川流域懇談会の開催	119
-----------------------	-----	--	-----

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 10. 市史編さん事業推進費

(単位 千円)

予算現額 42,591 千円
決算額 38,668 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10,843	27,825

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市史編さん事業	38,668	平成22年度は3巻を刊行した。その他の巻も各専門部会の編集方針や調査計画に基づき、委員等により史資料調査・執筆活動等を行い、各編の編さんに向けての作業を推進した。	121

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 11. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 1,114 千円
決算額 1,045 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	260			785

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 男女共同参画推進 都市事業	1,029	1 男女共同参画推進事業委託 「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現をめざした取組を行った。なお、企画運営は、公募市民11人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」と協働で行った。 (1) パートナーの日の啓発事業 (2) 男の料理教室 (3) 縁育講座 (4) 三重県内男女共同参画連携映画祭 2 人材育成講座の開催 男女が個々の能力を発揮できる力を身につけ、男女共同参画を理解してもらうための人材育成講座を開催した。	121

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 18. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 200,152 千円
 決算額 184,687 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
32,936			5,861	145,890

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	23,089	(1)市役所駐輪場整備工事 市役所駐車場整備工事による駐車場及び駐輪場の配置変更に伴い、駐輪場の整備が必要となったため整備した。 (2)市役所駐輪場撤去工事 市役所駐車場整備工事による駐車場及び駐輪場の配置変更に伴い、駐輪場及びプロアー室の撤去が必要となったため撤去した。 (3)市役所駐車場整備工事 駐車スペースを有効活用し、駐車台数の増加及び安全性を確保するため整備した。 (4)分館解体工事 平成21年度に行った分館耐震調査の結果に基づき、想定する地震に対して倒壊の危険が高いと判断されたため解体した。 (5)市役所分館跡駐車場整備工事 分館解体後の跡地を公用車駐車場として整備した。	123

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	195	二見総合支所庁舎での執務に際し、必要関係者以外の立ち入り禁止をより厳格にする必要があり、カウンター部の間仕切りを設置した。	123

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	23,521	小俣総合支所防水改修工事 小俣総合支所では、数年前から複数の場所で雨漏りが見られるようになり、年々その箇所も増えていた。庁舎の健全な維持を図るため防水工事を実施した。 小俣総合支所屋外タイル床防滑工事 小俣総合支所の屋外タイル床は防滑加工されておらず、雨天などでタイルが濡れると非常に滑りやすくなり来庁者が転ぶなど危険なため防滑加工を行った。	123

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 95,828 千円
 決算額 94,338 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			18,057	76,281

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 市民活動促進事業	16,449	平成16年4月に公設公営でいせ市民活動センターを稼動し、同年7月には、指定管理制度を導入して公設民営で稼動。平成21年度から第3期目(3ヵ年)の指定管理者を特定非営利活動法人いせコンビネットに選定している。 平成22年度指定管理料 15,429,000円	頁 125
2. コミュニティ助成事業補助金	18,000	(財)自治総合センターからの助成金を財源とし、コミュニティ組織である自治会に補助金を交付した。 交付決定団体は12自治会	125
3. 元気なまちづくり協働事業補助金	8,311	市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。 交付決定団体は142自治会	125
4. 活性化活動事業補助金	663	市内で活動を行う地域グループや活動団体に対して、元気で活気溢れる地域づくりの支援をするため実施。 平成16年度に旧小俣町で補助制度の運用を開始。 申請団体数6団体、交付決定団体数6団体	125
5. 伊勢のまつり開催事業	6,557	平成22年度開催は、総勢65団体の代表者等からなる実行委員会で、「自分たちの祭りを自分達で考え、開催していく」をコンセプトに企画、運営、準備、片付けなど参加者と一緒に行われ、昨年度以上に実行委員会主体の運営態勢となった。 また“伊勢まつり”に併せて、高柳商店街サテライト会場では、「B級グルメ屋台村など」の出店や、伊勢市駅前広場で「伊勢っ子ものしり王選手権」が行われるなどの伊勢まつりの開催に併せたイベントが実施され、前年にないまつりの魅力が創出された。 しかし、残念ながら26日(日)午後からの降雨により、参加を取りやめる団体もあった。 実施日 : 平成22年9月25日(土)、26日(日) 実施場所 : 高柳商店街周辺～伊勢市駅周辺 来場者数 : 約15万人 参加団体・参加者数 : 209団体、7,497人	125

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつり開催事業	5,000	地域づくり、協働によるまちづくりを目的として市民で構成する実行委員会が主催し「第14回おぼたまつり」を開催した。 実施日 : 平成22年8月21日(土) 実施場所 : 市営大仏山公園スポーツセンター 観客動員数 : 約10,000人 参加団体 : 13団体 参加者数 : 約350人	125

御菌総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつり開催事業	4,840	河川愛護の啓発と地域住民のふれあい、協働によるまちづくりを目的として、市民で構成する実行委員会が主催し、「御菌ラブリバーふれあい祭り」を開催した。 実施日 : 平成22年10月10日(日) 午前11時00分～午後6時00分 実施場所 : 宮川ラブリバー公園 観客動員数 : 約12,000人 参加団体 : 13団体 参加人数 : 約350人	125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 21. 自治区振興費

(単位 千円)

予算現額 141,758 千円
決算額 141,267 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				141,267

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地区連絡員事業	101,416	行政の運営を円滑に且つより効果的に行うため、市内に地区連絡員(176人)を配置し、行政情報等の伝達を行った。 (1)市の広報紙、おしらせ版等の配付(各月1回) (2)その他市長が特に必要と認める職務	127
2. 区長謝礼事業	7,260	市内173自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。	127
3. 振興助成金事業	27,156	地域における自治活動を支援・推進するため市内173自治会に助成金を交付した。	127
4. 総連合自治会運営補助金	1,430	伊勢市総連合自治会に加盟する163自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。	127

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自治区振興事業	1,281	自治会が地域社会の活性化をめざし自主的に取り組む活動を支援するため、補助を行った。(補助率3/10) ・拡声放送施設設備費補助金 2件 29千円 ・集会所修繕費補助金 1件 1,252千円	127

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自治区振興事業	2,724	自治会が地域社会の活性化をめざし自主的に取り組む活動を支援するため、集会所施設の維持補修・修繕、備品購入、電気使用料に対して補助を行った。 ・維持補修・修繕 3件 428千円 ・維持補修【下水道】 1件 1,087千円 ・備品購入 1件 359千円 ・電気使用料(1/2補助) 25件 849千円	127

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 22. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 696 千円
決算額 674 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			160	514

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 国際交流推進事業	674	○外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」日本語版、中国語版、ポルガル語版、英語版の作成、配布を行った。 ○伊勢市国際交流協会を通じ、国際交流の趣旨普及、情報提供、講演会・交流会の開催及びボランティア活動の推進に努めた。また他団体とも協力し、国際交流のまちづくりを推進した。	127

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 24. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 38,203 千円
 決算額 36,878 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,141				35,737

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 防犯啓発事業	4,269	<p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、地域安全活動を推進した。</p> <p>○地域安全講習会の開催 各自治会・老人会等を対象に地域安全講習会を精力的に開催して、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。平成22年度の講習会開催状況は、次のとおりである。 平成22年度 24回 928名参加</p> <p>○街頭啓発活動の実施 振り込め詐欺及び街頭犯罪被害防止のため、伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員と街頭啓発に努めた。平成22年度の実施状況は、次のとおりである。 平成22年度 15回</p> <p>○地域安全展の開催 伊勢まつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設け、伊勢度会地区生活安全協会と共催で、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。 日時 ・平成22年9月26日(日) 内容 ・防犯啓発チラシ及び啓発物品の配布 ・似顔絵 ・白バイと記念撮影 ・防犯機器等の展示 ・その他啓発用品の配布</p>	頁 127
2. 防犯灯設置等補助金	22,869	<p>夜間の犯罪を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が実施する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。</p> <p>・防犯灯新設 52地区 (136箇所) ・防犯灯修繕 141地区 ・防犯灯電気代 160地区</p>	129

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 25. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 129,659 千円
 決算額 127,068 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,000	17,817		14,766	74,485

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 交通安全啓発事業	13,573	(1) 伊勢市交通安全都市推進協議会により、児童をはじめとする市民の交通安全意識の高揚を図った。 ①伊勢市児童交通安全図画ポスター展の協力 応募総数865点 ②夜光反射材等の啓発物品の購入配布 反射タスキ・シール8,000個等 (2) 伊勢・度会地区交通安全対策協議会により、広域的な見地から交通事故のない社会づくりを図った。 ①交通安全教室の開催 128回(うち市内79回) ②シルバー・サポート隊活動 24地区(うち市内18地区) 対象者数 1,466人(うち市内1,366人)	頁 129
2. コミュニティバス 運行事業	92,903	コミュニティバスの運行により、現況の民間鉄道・バス路線網を最大限活用することで、市全体における公共交通体系を構築し、市民の福祉向上を図った。 運行業務 一式 運行に伴う施設整備業務 一式 (参考) 平成22年度利用者数 77,004名 平成21年度利用者数 68,932名	129
3. 路線バス運行維持 事業	11,287	廃止路線代替バス、不採算路線バスの運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。 廃止路線代替バス(玉城線) 5,941,950円 地方バス路線維持費負担(沼木線) 5,345,000円	129

4. 伊勢地域観光交通 対策推進事業	5,000	<p>平成17年8月に発足した「伊勢地域観光交通対策協議会」で、伊勢地域周辺における交通施策を実施した。</p> <p>(1) 初参り交通対策 外宮・内宮・二見周辺の来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 また、サンアリーナ臨時駐車場を拠点に外宮、内宮、二見にシャトルバスの運行を行った。</p> <p>(2) ゴールデンウィーク交通対策 外宮・内宮・二見周辺の来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 また、サンアリーナ臨時駐車場を拠点に内宮にシャトルバスの運行を行った。</p> <p>(3) その他 土日祝日に宇治浦田町交差点へ警備員を配置し、車両誘導を行った。 また、3連休等の混雑期には、内宮周辺及び二見周辺に看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の開設を行った。</p>	129
--------------------------	-------	---	-----

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 149,670 千円
決算額 147,596 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			610	146,986

課税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 固定資産評価システム経費	85,111	<p>適正・公平な課税を行うため、以下の業務を行い、その経費を支出した。</p> <p>○固定資産土地評価及び地番図・家屋図修正業務委託 33,600千円 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込み。</p> <p>○土地鑑定評価(時点修正)業務委託 10,077千円 平成21年評価替え用に決定した鑑定評価額を、地価下落等に伴う変動を反映させ現状に則した価格とするための時点修正。</p> <p>○家屋評価計算及びシステム連携業務委託 4,998千円 家屋評価計算及び評価情報等データの総合行政情報システムへの連携</p> <p>○土地鑑定評価業務委託 31,491千円 平成24年評価替えに向けた769地点の標準宅地鑑定評価</p> <p>○都市計画税賦課業務委託 4,894千円 都市計画税の取り扱い変更に伴う総合行政情報システムの改修及び対象者への周知文発送</p>	131

収 税 課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. コンビニ収納経費	5,054	<p>納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、コンビニエンスストアでの収納を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアでの収納税額 566,078,240円 ・支出経費 <ul style="list-style-type: none"> 収納代行手数料 3,139,904円 電話回線使用料 99,616円 システム保守委託料 1,814,400円 	131
2. 徴収管理一般経費	29,647	<p>高額滞納者等、整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、徴収率の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> 移管件数 60件 移管総額 79,542,376円 ・負担金 <ul style="list-style-type: none"> 均等割額 100,000円 処理件数割額 8,400,000円 徴収実績割額 2,210,000円 計 10,710,000円 	131

(款) 2. 総務費 (項) 6. 監査委員費 (目) 1. 監査委員費

(単位 千円)

予 算 現 額 30,729 千円
決 算 額 30,636 千円

決 算 額 の 財 源 内 訳				
国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
				30,636

監査委員事務局

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. 工事等技術調査委託経費	106	<p>公共工事の品質の確保・向上に役立てるため、随時監査として工事監査を3件実施した。監査の執行にあたっては、専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。</p> <p>設計金額10億円未満の工事2就業単位(1就業:8時間)で実施。</p> <p>監査実施工事名 伊勢市立五十鈴中学校校舎改築工事 長屋・桜尻川処理分区ほか污水管渠面整備工事 豊北漁港用地護岸整備工事</p>	137

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,459,354 千円
 決算額 1,398,793 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
54,807	424,577	27,200	27,468	864,741

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 福祉ボランティア育成事業負担金	8,829	ボランティア活動事業を推進するため、伊勢市社会福祉協議会が実施するボランティアコーディネーターの配置等福祉ボランティア育成事業に対し支援し、地域住民の福祉ニーズに応じたボランティア団体活動への支援、育成の拡充を図った。	137
2. 民生委員協議会補助金	11,374	各地区民生委員・児童委員の研修活動及び地域住民における要保護者や老人・母子家庭・身体障がい者などの生活実態を把握するとともに、適切な相談・助言・指導などの福祉活動を行った。	137
3. 福祉健康センター施設改修事業	71,408	福祉健康センターの空調設備について、21年度及び22年度で改修を行い、利用者の安全と快適な利用の確保に努めた。また、駐車場の舗装工事を行い、利用者の安全確保に努めた。	139
4. ハートプラザみその等管理事業	24,267	地域の福祉活動、健康増進、文化・教養の高揚など市民の活動拠点施設として利用された。 年間利用者延人数 66,144人	139
5. 民生委員児童委員改選経費	280	平成22年度は、3年に1度の一斉改選の年であり、新たな民生委員・児童委員の選出のため、推薦会を開催した。また、選任後、委嘱状・伝達式・新任研修会を行った。	139

二見総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	5,033	地域の高齢者や市民に対し、各種の相談業務や健康増進事業及び教養娯楽等のための便宜を図り、明るく生きがいのある生活支援の場として貸し出し施設の維持管理を行った。	139

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	991	地域の老人をはじめとする住民の教養の向上及びレクリエーション等を行うコミュニティの場として設置された施設で、小俣町商工会、度会教育会館とで合同会館の施設維持管理にあたった。	139
2. 保健福祉会館管理事業	13,228	小俣管内を6地区に分け各々に保健福祉会館を設置し、地域の老人をはじめとする住民の健康増進・教養の向上及びレクリエーション等の場とした。	139

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 1,540,182 千円
 決算額 1,497,903 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
656,103	339,579		51,152	451,069

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 障害者地域生活支援事業	73,834	<p>障がいのある人が、その有する能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、地域生活支援事業を実施した。</p> <p>1. 障害者地域生活相談支援事業 障害者相談支援センターの運営を社会福祉法人へ委託し、訪問、来所、電話等により相談を受け付け、福祉サービスに関する情報提供、ケースマネジメント等を行った。 委託先 社会福祉法人三重済美学院</p> <p>2. 日常生活用具給付事業 在宅の重度心身障がい者（児）等に対し、特殊マット、入浴補助用具等を給付することにより、日常生活の安定を図った。 給付件数 2,099件</p> <p>3. 身体障害者情報保障事業 (1) 手話通訳設置事業 庁内に手話通訳者を配置し聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。 窓口対応件数 203件 (2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がいのある人の社会参加の向上を図った。 手話通訳者派遣件数 56件 要約筆記者派遣件数 38件 (3) 手話奉仕員養成事業 手話のできる人を増加することにより、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図った。（奉仕員：コミュニケーションがとれるもの） 手話奉仕員養成講座基礎課程33名受講（2会場） 手話奉仕員ステップアップ講座7名受講 (4) 点字広報・声の広報発行事業 広報を点字及び朗読することにより、視覚障がい者の情報保障の充実を図った。</p>	141
2. 障害者外出支援事業	6,579	<p>1. 重度障害者タクシー料金助成事業 在宅の重度障がい者に対し、タクシー料金を助成することにより、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 タクシー券利用枚数 8,305枚</p> <p>2. 重度身体障害者リフトタクシー助成事業 下肢、体幹機能の障がいがあり車いすを利用する方を対象に、リフト付タクシーの利用料金を助成し、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 リフト付タクシー券利用枚数 625枚</p> <p>3. 障がい者外出支援対策アドバイザー業務 障がいのある人が安心して外出できるまちづくりを推進するため、社会環境の調査を行うとともに課題、改善策等の検討を業務委託により実施した。</p>	141

<p>3. 障害者福祉運営対策経費</p>	<p>121,701</p>	<p>1. 身体障害者デイサービス事業 デイサービス事業の運営を社会福祉協議会へ委託して身体障がい者が地域で充実した生活が送れるよう、社会適応訓練や創作活動等を行うサービスを実施した。 (1) 身体障害者福祉センターデイサービス運営費 (パソコン教室等) 実利用人数 57人 利用回数 979回 (2) 重度身体障害者デイサービス運営費(くじら) 実利用人数 26人 利用回数 2,894回 給食 2,877回 入浴 327回 2. 身体障害者福祉センター運営委託事業 身体障害者福祉センターの運営を社会福祉協議会へ委託し、障がいのある人の利便性の向上を図るとともに、社会参加の促進を図った。 3. 障害者自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 助成団体 10団体</p>	<p>141</p>
<p>4. 障害者啓発事業</p>	<p>163</p>	<p>12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発と作品展示を実施した。</p>	<p>141</p>
<p>5. 障害者手当等給付事業</p>	<p>60,792</p>	<p>在宅で重度の障がいのある人などに対し、その障がいによって生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別障害者手当等を支給した。</p>	<p>141</p>
<p>6. 障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業</p>	<p>22,887</p>	<p>利用者が通所サービスを利用しやすくするため、送迎サービスの利用に係る利用者負担の軽減を図った。また、新体系への移行に伴うコストの増加等に対応できるよう、移行した新体系事業所に一定の助成を行うことによって、旧体系施設から新体系への移行を促進した。</p>	<p>141</p>
<p>7. 障害者通所等支援事業</p>	<p>969</p>	<p>通所訓練施設等通所者等の障害者自立支援法に基づく利用者負担金の一部を助成することで、福祉サービスの利用を促進し、障がい者福祉の推進を図った。</p>	<p>141</p>
<p>8. 障害者小規模作業所対策事業</p>	<p>57,146</p>	<p>小規模作業所4ヶ所の運営を社会福祉協議会へ委託するとともに、小規模作業所を運営する団体に対して補助金を交付し在宅の障がいのある人の社会的自立と社会参加の促進を図った。 また、市外の小規模作業所への通所者については、その通所経費を設置する市町へ負担した。</p>	<p>141</p>
<p>9. 障害者介護給付等事業</p>	<p>1,088,800</p>	<p>障害福祉サービスの利用について、介護給付費及び訓練等給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。</p>	<p>141</p>
<p>10. 障害程度区分認定事業</p>	<p>6,750</p>	<p>障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービスの支給決定に必要な認定調査員による訪問調査等を実施した。 また、障害者自立支援法及び伊勢市障害者介護給付費等の支給に関する審査会条例に基づき、伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を通じ、障害程度区分認定等に係る審査業務を行った。 (1) 調査件数 290件 (2) 審査会判定件数 262件(うち重複障害35件)</p>	<p>141</p>

11. 補装具費支給事業	18,292	失われた身体機能を補うための補装具費（購入及び修理）の支給を行い、日常生活や社会生活の向上を図った。 購入及び修理延べ件数 247件 （内訳 購入140件 修理107件）	141
12. 身体障害者医療給付事業	39,734	身体に障がいのある人の障がいの除去又は軽減を図るため、更生に必要な医療費を給付した。 診療延べ件数 385件	141

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 705,222 千円
決算額 693,551 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	279,655			413,896

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者医療費支給事業	238,764	身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 229,072千円 (1) 延人数 20,201人 (2) 延件数 49,599件 2 証明書料の助成 9,692千円 (うち郵送料 594) (1) 延件数 45,487件	141
2. 65歳以上障害者医療費支給事業	166,391	後期高齢者医療被保険者である身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 166,391千円 (1) 延人数 22,447人 (2) 延件数 59,130件	143
3. 乳幼児医療費支給事業	175,450	義務教育就学前までの乳幼児で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、小学生の入院医療費を助成した。 1 医療費の助成 157,342千円 (1) 延人数 45,084人 (2) 延件数 95,193件 2 証明書料の助成 18,108千円 (1) 延件数 90,537件	143
4. 一人親家庭等医療費支給事業	72,089	母(父)子家庭の親及び子、または父母のいない子で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 1 医療費の助成 66,604千円 (1) 延人数 14,845人 (2) 延件数 28,240件 2 証明書料の助成 5,485千円 (1) 延件数 27,428件	143

5. 寡婦医療費支給事業	17	配偶者と死別し、かつて20歳未満の方を扶養していた、現在婚姻状態にない60歳以上70歳未満の女性で、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。 1 医療費の助成 16千円 (1) 延人数 3人 (2) 延件数 6件 2 証明書料の助成 1千円 (1) 延件数 6件	143
-----------------	----	--	-----

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 心身障害児通園施設費

(単位 千円)

予算現額 41,959 千円
決算額 41,547 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			15,484	26,063

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. おおぞら児童園運営事業	14,148	障がいをもつ児童の発達の促進と障がいの軽減を図るため、通園による訓練や療育、相談等を行った。平成23年1月より小学生部を開始、2月より作業療法を開始した。 発達療育 延べ656人、機能回復訓練 延べ 29人 言語訓練 延べ291人、感覚運動遊び 延べ1,164人 音楽療法 延べ335人、作業療法 延べ 23人 小学生部 延べ 84人、相談 延べ 334人	143
2. おおぞら児童園管理事業	4,152	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	143

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 3,213,291 千円
決算額 3,188,971 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,226	189,757		74,100	2,866,888

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉施設等建設補助金	87,186	介護保険事業計画に基づき、市が選定した法人が行う地域密着型サービス施設の面的整備費と整備後、円滑に施設開設ができるよう開設準備に係る必要経費に対して補助を行った。また、消防法施行令改正に伴い、地域密着型サービス施設が行うスプリンクラー等の設置整備費に対して補助を行った。 ○面的整備 補助件数 3件 (うち1件は平成21年度から一部繰越) ○施設開設準備経費 補助件数 3件 ○スプリンクラー等設置 補助件数 4件	145

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生きがい活動支援通所事業	6,317	在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」と認定された者、又は自立とみなされる虚弱な者を対象に、デイサービスセンター等への通所により、教養講座・日常動作訓練・趣味創作活動等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消・心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	145
2. 外出支援サービス事業	10,231	65歳以上のねたきり及び下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、移送用車両（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。	145
3. 軽度生活援助事業	556	老衰・心身の障がい及び傷病等の理由により日常生活の援助が必要な高齢者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、高齢者の在宅での生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	145
4. 緊急通報体制等整備事業	7,316	65歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者等に対し緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。	145
5. 老人乗合バス運賃助成事業	21,381	75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券（100円券×40枚または1回乗りきり乗車券×12枚の回数券）を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担の軽減を図った。 交付者数 9,639人 (内訳) 100円券 8,999人 乗りきり券 640人	145
6. 老人福祉センター運営事業	1,374	高齢者を対象にした高齢者教室を実施し、利用者の社会参加及び文化活動の促進を図った。また、老人クラブや高齢者サークルへ活動の場を提供し、高齢者の交流、情報収集の拠点となった。平成18年9月より指定管理者による運営となっている。	145
7. 老人クラブ補助金	12,258	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。	145
8. 敬老金支給事業	12,809	市内に在住する年度末時点で77歳、88歳、99歳の高齢者及び最高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老金を贈呈した。（最高齢者への贈呈は生涯に1回） 77歳 5,000円 1,491人 88歳 10,000円 495人 99歳 10,000円 24人 最高齢者 30,000円 1人	145
9. 健康ひろば管理経費	1,204	平成21年度に整備された健康ひろば（高齢者に配慮した遊歩道・遊具等）の利用者に対して、安心安全な環境を提供した。	145

10. 老人ホーム入所措置事業	239,741	おおむね65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。 延べ措置人員 養護老人ホーム 1,610人	145
11. わたらい老人福祉施設組合分担金	11,402	養護老人ホーム高砂寮の運営組織である「わたらい老人福祉施設組合」の運営費等にかかる分担金を加入市町（玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・伊勢市）の人口割により負担した。	145

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館運営事業	3,168	地域住民で組織する各保健福祉会館運営委員会（6館）において計画する事業の実施、及び保健福祉会館を会場に、高齢者を対象とした健康体操教室を開催した。	147

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 416,043 千円
決算額 401,158 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,816	72,593		15,548	289,201

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担金	2,000	過疎地域の利便を図り、児童送迎に対する地域格差を解消するため、社会福祉法人一宇郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。	147
2. 子育て支援ショートステイ事業	385	出産、病気等の緊急一時的な理由があるとき、児童養護施設で児童を保護し、経済的理由等で一時的に保護が必要となった母子を母子生活支援施設で保護するため、3施設に事業を委託した。 延べ利用件数 10件 延べ利用日数 51日	149
3. 病児・病後児保育事業	13,684	病気回復期にある児童を集団保育が困難である間、専用スペースで預かることにより保護者の子育てと就業の両立支援を行った。 延べ利用人数 800人	149
4. ファミリーサポートセンター事業	8,335	児童福祉の向上と、保護者の仕事と家庭の両立支援を目的として、会員相互の信頼と了解の上で、一時的に児童を預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営の充実を図った。 年度末会員数 372人 活動件数 1,628件	149
5. 次世代育成支援対策事業	70	伊勢市次世代育成支援行動計画〈後期〉について、伊勢市次世代育成支援対策推進協議会を開催し、推進会議委員の意見を得て事業の進行管理を行い、計画の平成22年度の検証を行った。	149

6. 放課後児童対策事業	115,655	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均登録児童数 640人	149
7. 放課後児童クラブ整備補助金	600	放課後児童クラブの開設に伴い、その施設整備と活動に要する備品等を整備するための経費を助成することにより、放課後児童クラブの円滑な運営と児童の健全育成の向上を図った。 対象箇所数 2箇所	149
8. 一般保育事業補助金	47,139	公立保育所職員と民間保育所職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所に対し補助した。 民間保育所 16箇所	149
9. 低年齢児保育推進事業補助金	7,023	0・1歳児にゆとりのある保育を実施することにより、児童の心身の発育発達を一層促すため、延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、0・1歳児が定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上入所している保育所で、基準を超えて配置する保育士に必要な経費を補助した。 民間保育所 7箇所 対象児童 延べ1,488人	149
10. 延長保育促進事業補助金	45,136	通常の保育時間を超えて長時間保育（9時間以上）を実施している保育所に対して、職員の加配及び処遇改善を図るために要する経費を補助した。 民間保育所 15箇所 うち国庫補助対象（11時間以上）5箇所	149
11. 地域活動事業補助金	3,891	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所 16箇所	149
12. 障害児保育事業補助金	14,251	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童を受け入れている保育所で、基準を超える保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所 8箇所 対象児童 (中度) 10人 (重度) 5人	149
13. 休日保育事業補助金	1,161	日曜・祝日等に保育を行う民間保育所に対して、その事業経費を補助した。 民間保育所 1箇所	149
14. 子ども家庭支援ネットワーク事業	313	伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置して、要保護児童とその家族の早期発見と適切な保護を行った。	149
15. 家庭相談員設置事業	4,532	福祉事務所内に家庭相談員を配置して、家庭における児童養育に関する種々の問題についての相談・指導を行った。 平成22年度相談受理件数：66件	149

16. 児童養護施設整備 補助金	9,354	措置入所児童及び緊急一時的な児童ショートステイとして児童を保護する施設の充実を図るため、改修に伴う工事に対する施設整備費の一部を補助した。 社会福祉法人 1箇所	149
------------------------	-------	---	-----

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 3,254,111 千円
決算額 3,249,282 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,984,099	418,194		261,169	585,820

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童手当支給事業	158,540	12歳到達後最初の3月31日までの間にある児童を監護し、かつ定められた所得以下である者に児童手当を支給し、児童の健全育成を図った。(平成22年3月分まで。平成22年4月分からは子ども手当) ・被用者児童手当 40,980千円 ・非被用者児童手当 11,020千円 ・特例給付児童手当 660千円 ・被用者小学校修了前特例給付 80,010千円 ・非被用者小学校修了前特例給付 25,870千円	151
2. 児童入所施設措置 事業	8,587	○母子生活支援施設入所経費 18歳未満の児童を持つ母子世帯であって、その児童の福祉に欠ける母子を入所措置し、社会の共同生活に適応できるよう生活指導及び自立への支援を行った。 利用件数 3件	151
3. 民間保育所児童保 育事業	1,051,789	民間保育所運営費を支弁した。 (国庫負担金基準による) 民間保育所 16箇所 延べ児童数 15,391人	151
4. 子ども手当支給事 業	2,030,366	15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童を監護する者に子ども手当を支給し、児童の健全育成を図った。(平成22年4月分から) 対象児童延べ人数 156,182人 受給者数 9,068人 (平成23年3月31日時点)	151

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 575,838 千円
 決算額 560,460 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
188,321				372,139

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 母子自立支援員事業	2,337	母子自立支援員を設置し、母子家庭等及び寡婦の相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び指導を行うとともに母子寡婦福祉資金貸付に係る業務を行った。 相談件数 441件 貸付利用件数 19件	頁 151
2. 母子福祉事業補助金	187	母子家庭及び寡婦の生活の安定と向上を図るため、団体が実施する母子家庭の生活支援及び自立支援等の事業の費用を補助した。 補助団体数 1件	151
3. 自立支援教育訓練給付金事業	11	雇用保険制度の教育訓練講座を受講した母子家庭の母に対し、講座終了後に、受講料の一部を助成した。 助成件数 1件	151
4. 高等技能訓練促進費等事業	15,237	一人親家庭の就労のための主体的な能力開発の取り組みを支援するために、看護師等の資格に係る養成機関で修業する一人親家庭の父又は母に対し、生活費の負担減を図るため補助金を支給した。 高等技能訓練促進費 11人 入学支援修了一時金 3人	151
5. 児童扶養手当支給事業	529,609	父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、対象者に児童扶養手当を支給した。 (父子家庭は平成22年8月分より対象) 受給者数 1,169人 全額支給停止者 173人 (平成23年3月31日時点)	151
6. 母子生活支援施設整備補助金	12,780	DV被害及び児童虐待から母子の安全を確保し、保護する施設の充実を図るため、改修に伴う工事に対する施設整備費の一部を補助した。 社会福祉法人 1箇所	151

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,826,533 千円
 決算額 1,779,604 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
54,546	7,899	231,800	303,528	1,181,831

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 臨時保育士等経費	364,444	正規職員の不足を臨時職員等で補った。 ・嘱託保育士 110人 ・嘱託看護師 17人 ・嘱託調理員 12人 ・嘱託業務員 16人 ・臨時保育士 22人 ・臨時調理員 7人	153
2. 入所児童処遇経費	144,516	公立保育所の入所児童の健全な育成と円滑な保育所運営を図った。 市立保育所 14箇所・延べ 16,875人	153
3. 低年齢児保育推進事業	4,381	延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上0・1歳児が入所している保育所において0・1歳児に対して国の基準を超えて保育士を配置した。 市立保育所 2箇所・対象児童 延べ254人	153
4. 保育所地域活動事業	2,140	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施した。 市立保育所 12箇所	153
5. 地域子育て支援センター事業	47,431	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、明倫保育所 二見浦保育園、小俣子育て支援センター	153
6. 障害児保育事業	44,638	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士を加配した。 市立保育所 11箇所 対象児童 (中度) 14人 (重度) 7人	153
7. 延長保育促進事業	8,201	11時間を超えて長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所	153
8. 休日保育事業	3,396	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所	153
9. 一時保育事業	9,576	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 保育所きらら館、小俣子育て支援センター	153

10. 市立保育所施設維持補修経費	7,512	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を維持補修し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 14箇所	153
11. 研修等参加経費	248	市立保育所職員の資質向上を図るため、各種研修を受講した。 三重県保育総合研修会 北信越・東海地区主任保育士研修会 公立保育所トップセミナー 等	153
12. 市立保育所管理運営経費	56,435	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を運営管理し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 14箇所	153
13. 市立保育所施設整備事業	37,645	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。 浜郷保育所遊具取替工事 浜郷保育所便器取替工事 二見浦保育園空調機取替工事 さくらぎ保育所、五峰保育園空調機移設工事 浜郷保育所防犯カメラ設置工事 二見浦保育園防犯カメラ設置工事 御菌第一保育園浄化槽改修工事 御菌第二保育園浄化槽改修工事 あけぼの園重油槽撤去工事 御菌第二保育園ガス給湯器取替工事 五峰保育園排水設備工事 明倫保育所調理室天井張替工事 旧中島保育所解体工事 等	153
14. 四郷地区認定こども園施設整備事業	252,295	四郷地区に開設する認定こども園施設整備のため、園舎新築工事等を行った。 四郷地区認定こども園新築工事 (建築・機械設備・電気設備) 四郷地区認定こども園新築工事監理業務委託 しごうこども園測量設計業務委託 あさま保育所解体工事(1期) 等	153

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 5. 児童館費

(単位 千円)

予算現額 54,396 千円
決算額 53,228 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,036			42,192

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 児童館管理運営事業	22,898	遊びを通じた交流により他者とのかわり方を学び、また遊びの中での助言指導を行うことにより児童の健全育成を図った。 対象施設数 4館(中央児童センター・小俣児童館・明野児童館・御菌こども広場) 年間利用延人数 33,335人	155

2. 地域児童館管理運営事業	20,340	児童センターを利用する児童に遊びや運動等の指導を行い、児童の健全育成を推進した。 対象施設数 2館（あさま・黒瀬児童センター） 年間利用延人数 12,791人	155
3. 民間児童館運営事業補助金	9,990	児童の健全育成を図るため、民間児童館運営が円滑に行われるよう助成した。 対象施設数 1館（明照児童館） 年間利用延人数 14,538人	155

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 69,929 千円
決算額 65,410 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	25,573			39,837

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権施策推進事業	1,001	伊勢市人権施策推進協議会と協力して、人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、市内小中学校の児童生徒を対象とした人権尊重啓発ポスター募集事業や人権セミナーの開催など、市民の人権意識の高揚に努めた。	157

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 854,006 千円
 決算額 759,232 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
88,104	49,828	100,600	4,864	515,836

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	35,587	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 470千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 33,887千円(実績割100%) 建設経費 1,230千円(平等割10%人口割90%)	159
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	253,590	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 3,001千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 216,234千円(実績割100%) 建設経費 25,676千円(平等割10%人口割90%) 公債費 8,679千円(元利補給金)	159
3. 生活排水対策啓発事業	376	伊勢市まちづくり市民会議環境分科会にて、各家庭における生活排水対策の啓発活動に取り組んだ。 実施事業：勢田川七夕大そうじ、水生生物による水質調査、エコクッキングなど	159
4. 狂犬病予防事業	585	狂犬病予防法に基づき、獣医師会と協力して、畜犬登録受付と狂犬病予防注射を行った。 畜犬登録件数 669頭 狂犬病予防注射受付件数 5,828頭	159
5. 環境審議会経費	59	伊勢市環境基本条例第8条等に基づき策定した伊勢市環境基本計画の進捗状況や施策内容等について、提言いただいた。 平成22年度審議会委員19人、審議会開催数1回	159
6. 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	157,436	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、小型合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 公共下水道認可区域外 359基 149,486千円 公共下水道認可区域内 65基 7,950千円	159
7. 家庭用新エネルギー普及推進事業	4,800	新エネルギーの導入促進および普及啓発のため、家庭用太陽光発電システム設備設置者に対し補助金を交付した。 補助金交付件数 太陽光発電設備 80件	159
8. 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助金	300	市内の上水道施設整備が困難な地区の水道未普及地域において、自家用井戸または浄水施設等を設置する際に補助金を交付した。 補助金交付件数 1件	159
9. 犬猫不妊手術費等補助金	1,426	犬猫の適正飼育を図るため、市の要綱に基づき不妊手術費の一部助成を行った。 補助金交付件数 犬146匹 猫291匹	159

10. 環境リサイクル フェア等開催事業	437	環境問題に対する意識啓発のため、また、環境に関する市民の理解と協力を得るため、環境フェアを開催した。 日時 平成22年10月10日 開催場所 三重県営サンアリーナ 主催 伊勢市まちづくり市民会議環境分科会、伊勢市	161
----------------------------	-----	---	-----

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営 事業	10,223	地域住民の福祉の充実及び向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。また、平成19年4月1日からは民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し管理運営を行い、毎月4回程度のかわり湯を実施し、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成22年度利用者数 35,022人	159

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 1,010,781 千円
決算額 1,005,682 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,091	53,200	38,873	887,518

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 医療提供体制推進 事業費補助金	37,548	病院群輪番制病院の体制をとっている山田赤十字病院の建替えに係る施設整備費の一部を補助することにより、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図った。	161
2. 一次救急医療事業	4,561	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう周知に努めた。 また、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED(自動体外式除細動器)を市の主要18施設に設置するとともに、市民が参加するイベントなどで活用できるよう貸出用も配備し、貸出を行った。	161
3. 病院群輪番制病院 運営費補助金	30,973	病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院(市立伊勢総合病院、山田赤十字病院)が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。 平成22年度は17,808人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。	161

4. 健康文化都市推進事業	3,338	生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針に基づき生活習慣病予防を中心に健康づくり活動を推進した。健康文化週間及び健康の日の啓発事業や、健康づくりアドバイザー養成講座、重点事業への取組みとして、低カロリー・バランス食のレシピ集の発行やウォーキング講座等を実施した。また指針策定後、計画の中間年にあたり中間評価を行った。	161
5. 食生活改善推進事業	796	健康づくりの基本となる食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成と、推進員の自主的な活動に対する支援を行った。	161

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 378,673 千円
決算額 304,066 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	27,916			276,150

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 予防接種事業	208,279	全ての定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行った。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。 新型インフルエンザ予防接種の実施に伴い、生活保護世帯・市民税非課税世帯の方に対し、費用の全額助成を行い、また、課税世帯で中学3年生までの方に対し(2回接種者のみ)、費用の一部助成を行うことにより、接種率の上昇を図り、重症化を予防した。	161
2. 肺炎球菌予防接種助成事業	8,420	肺炎の予防及び重症化を防止するため、任意予防接種である肺炎球菌ワクチンを接種した方(65歳以上)に対し、接種費用の助成を行った。	161
3. 子宮頸がん予防接種助成事業	62,637	子宮頸がんを予防するため、任意予防接種である子宮頸がん予防ワクチンを接種した方(中学1年生～中学3年生)に対し、接種費用の助成を行った。 2月からは、中学1年生から高校1年生までの方が無料で接種できるよう委託事業として実施した。	163
4. 乳幼児任意予防接種助成事業	24,730	任意予防接種であるヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種の委託事業を2月から実施し、接種する方が無料で接種を受けることができるようになった。	163

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 283,273 千円
 決算額 271,416 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,123	3,996		1,744	257,553

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	4,628	40歳以上の保険が無い方を対象にした健康増進法健康診査及び、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	163
2. がん検診事業	259,823	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん(悪性新生物)を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	163
3. 歯周疾患検診事業	5,442	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 2,021人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	163
4. 成人健康相談事業	787	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ115回、473人の相談を行った。	163
5. 訪問指導事業	223	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族334人に対し、生活習慣病の予防や介護予防、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	163

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 136,453 千円
 決算額 124,408 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
540	22,905		394	100,569

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	554	妊娠期、乳幼児期に各教室を実施し、妊娠・分娩・子育てに関する正しい知識の普及や子育ての不安の解消、仲間づくりの支援を図った。1,763人の参加があった。	163
2. 発達支援教室事業	1,761	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。876人の参加があった。	163

3. 幼児歯科保健事業	2,894	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室24回 887人 ・3歳児フッ化物塗布12回 748人	163
4. 子育て相談事業	702	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域等で開催し、延べ4,214人の相談に対応した。	163
5. 新生児等訪問指導事業	1,389	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることで不安や悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児918人、乳幼児606人、妊産婦912人の訪問を実施した。	163
6. 妊婦・乳児健康診査事業	97,327	妊娠中に14回及び乳児期に2回(4ヶ月、10ヶ月)計16回、県下の委託医療機関で健康診査を実施した。妊婦は延べ12,966(県外含む)人、乳児は延べ2,015人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	163
7. 1歳6か月児健康診査事業	3,972	身体発育、精神発達の面で歩行や言語発達の標識が容易に得られる1歳6か月時に健康診査を実施し、976人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	163
8. 3歳児健康診査事業	6,245	身体発育及び精神発達の面で最も重要な時期である3歳の時点において、総合的な健康診査を実施し、1,014人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	163
9. 妊婦歯科健康診査事業	1,030	歯周疾患の早期発見、早期治療により早産や低出生体重児の出生を予防し、健やかな子育てを開始できるよう、伊勢地区歯科医師会80医療機関にて、381人の妊婦に歯科健康診査を実施した。	163
10. 母子健康手帳交付事業	472	妊娠の届出を行った1,124人の妊婦に対し、窓口で母子健康手帳を交付した。また、妊娠中からの保健指導を行い、母子の健康の保持増進を図った。	163
11. 不妊治療費助成事業	8,062	医師が必要と認めた不妊治療を受けた夫婦に対し、不妊治療費に要する費用の一部助成(費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで)を行った。 一般不妊治療76件、特定不妊治療57件に助成を行った。	165

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 47,899 千円
 決算額 14,585 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,274			3,711	4,600

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市営墓地管理一般経費	3,763	市が管理する大世古墓地及び大湊墓地並びに小俣若山墓地・納骨堂について、管理及び清掃等の墓地環境の整備並びに使用者の利便を図った。 市営墓地管理委託業務 2,203千円 墓地管理システム・駐車場賃借料 996千円 他	165
2. 共同墓地整備事業補助金	10,822	共同墓地内の環境衛生の改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し、費用の一部を補助した。 補助金交付件数 11箇所	165

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 93,305 千円
 決算額 77,605 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			73,376	4,229

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 医科診療所運営事業	70,826	夜間や休日などに救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	165
2. 歯科診療所運営事業	6,779	休日の救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(歯科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	165

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 5,050 千円
 決算額 4,431 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,431

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 調査事業	4,431	公害防止、環境保全を図るため、水質・騒音・振動・悪臭等の調査を行い、結果を広報等で周知した。	165

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 1,044,581 千円
 決算額 1,001,449 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			121,760	879,689

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	688,863	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 共通経費 5,921千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 426,714千円(実績割100%) 建設経費 132,926千円(平等割10%人口割10%) 公債費 121,902千円(元利補給金) 清掃事業所分担金 1,400千円	頁 167
2. きれいなまちづくり推進事業	213	伊勢市まちづくり市民会議環境分科会にて、ごみの減量化・資源化対策の啓発活動に取り組んだ。 実施事業：伊勢市駅前ごみゼロ早朝清掃、ごみゼロポスターコンクール、環境フェア また、小俣町地域において「まちをきれいにする一斉運動」を、午前8時から1時間程度、各自治区を中心にポイ捨てされたゴミを一掃するため、また、地球環境美化の一環として落ちていたゴミを拾うことによって、ゴミを捨てない・汚さない心を確認しあう日として実施をした。 日 時 平成22年5月30日(日) 実施場所 小俣町内一円 対 象 伊勢市小俣町内に住む市民 参加者 1,637名	167
3. 廃棄物集積所設置補助金	260,205	ごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。 ○交付申請団体数 のべ202団体 ○補助金交付基数 1,277基 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	167
4. 不法投棄防止対策推進事業	1,132	市有地等に不法投棄された家電4品目及び処理困難物を適正に処理した。 不法投棄物：テレビ151台、冷蔵庫33台、洗濯機17台、エアコン8台、タイヤ274本 他	167
5. 廃棄物減量等推進審議会経費	107	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき策定した伊勢市ごみ処理基本計画の推進に関する検討を行った。 平成22年度審議会委員：14人 審議会開催回数：2回	167

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 102,249 千円
 決算額 86,132 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,024		49,137	35,971

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 指定袋制度運営事業	47,708	ごみの減量及び資源化を推進するため、可燃ごみの指定ごみ袋制を実施した。 ○目的 1. 可燃ごみへの資源物の混入の防止、ごみの減量と分別・資源化の推進 2. 危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止 3. 日常生活からのごみと事業活動から生じるごみとの区別化 ○指定袋種類 3種類 (大袋45%、中袋30%、小袋15%) ○材質等 【材質】高密度ポリエチレン製 【色】半透明 ○販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売 (平成23年3月31日現在、販売店登録数317店舗) ○販売価格 希望小売価格制度にて販売 市の提示する希望小売価格 大袋75円、中袋54円、小袋37円(税別)	頁 167
2. ごみ減量・資源化推進事業	2,415	事業者からの排出ごみの減量化・資源化の推進方法を検討するため、事業系燃えるごみの組成等について調査分析を行なった。	167
3. 再生資源回収推進事業	17,795	自治会、PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対して回収量に応じ奨励金を交付し、ごみの減量・資源化を図った。 ・交付団体数 150団体 ・回収量 2,963t (内訳) 紙類2,845t、布類49t、缶類69t、びん6,080本 ※1kg当たり6円の奨励金 びんについては、1本当たり3円の奨励金	167
4. ごみ減量化容器設置補助金	2,985	生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。 ○交付申請件数 126件 ○補助金交付基数 135基 ○補助率 購入額の1/2(限度額30千円)	167
5. 資源回収ステーション推進事業	10,350	家庭から生じた資源物の保管困難な状況を解消し、ごみの減量・資源化を更に推進するために、資源拠点ステーション(明野)および資源回収ステーション(6箇所)を設置した。	167

6. ごみ減量・資源化 事業一般経費	4,879	地区別（22地区）にごみ収集日を記載したポスター形式の「平成23年度版ごみカレンダー」を作成し、広報いせ3月1日号と同時に全戸に配布した。 （H23年度版作成部数 ごみ収集日カレンダー65,000部、ごみの分け方・出し方65,000部の2種類合計130,000部）	167
--------------------------	-------	---	-----

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 837,382 千円
決算額 826,821 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			27,313	799,508

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 廃棄物投棄場管理 一般事業	14,639	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、市民から搬入されたガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の適正処理を行い、環境保全の推進を行った。また、小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。</p> <p>御菌、二見廃棄物投棄場については、平成23年3月31日で一般搬入停止。</p> <p>○朝熊年間搬入量 623,500kg ○小俣年間搬入量 133,790kg ○御菌年間搬入量 162,400kg ○二見年間搬入量 13,500kg</p>	169

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	201,714	<p>ごみの減量・資源化のため、缶・金属類、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類、乾電池及び蛍光管の分別回収を行った。</p> <p>○市内ステーション設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ステーション 998箇所 ・資源拠点ステーション 19箇所 <p>（内訳）伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、早修、北浜、宮本、沼木、大湊、東豊浜、いせトピア、二見、小俣、御菌</p>	169

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 88,906 千円
 決算額 73,644 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,363			16,620	45,661

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若年求職者等支援事業	1,271	若年求職者を対象にカウンセリングを含む就職個別相談を実施したほか、いせ若者就業サポートステーションと連携し、若年無業者を支援するネットワークを構築するなど、若者の早期就職支援に努めた。	169
2. 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金	23,912	中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。	169
3. 勤労者ふれあい事業	1,500	(社)伊勢志摩勤労者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバルを10月10日に県営サンアリーナを会場に開催した。市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約20,000人が参加し、ゆとりと豊かさを実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	169
4. 高齢者労働能力活用事業費補助金	20,743	高齢化社会が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。	169
5. サンライフ管理運営事業	6,061	勤労者を対象とした趣味づくり、健康づくり講座を開催することで、心身の健康保持、体力増強及び教養文化の向上に寄与するとともに、趣味づくり教室作品発表会を開催し、サンライフ伊勢の趣味づくり教室の活動を広く市民に周知・啓発した。	169
6. 労働福祉会館管理運営事業	42	伊勢市労働福祉会館運営委員会を開催し、県庁舎建替えに伴う移転の問題等について検討・協議した。	169
7. やすらぎ公園プール管理運営事業	10,089	やすらぎ公園プールを管理運営し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上を図った。	169
8. やすらぎ公園プール整備事業	735	やすらぎ公園プールのプールサイド塩ビシートの一部補修や日除けテント支柱とブリッジのケレン・錆止を実施した。	171
9. 勤労者持家促進資金貸付金	7,500	市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。	171

10. 勤労者教育資金貸 付金	1,360	市内に居住する勤労者とその扶養親族の教育資金について、東海労働金庫の貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで、勤労者の負担を緩和し、教育の充実を図った。	171
-----------------------	-------	---	-----

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 2. 緊急地域雇用対策事業費

(単位 千円)

予算現額 130,327 千円
決算額 122,982 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	119,240		111	3,631

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育・文化関連雇 用対策事業	22,080	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、7事業を実施した。 ①学校教育課：外国人児童生徒支援事業 ②学校教育課：学校図書館活性化支援事業 ③生涯学習・スポーツ課：社会スポーツ団体等育成事業 ④文化振興課：歴史的資料等整理事業 ⑤教育研究所：児童生徒自立サポート事業 ⑥人権政策課：生活実態調査事業 ⑦市民交流課：企業の社会貢献と市民活動団体との連携調査 【新規雇用創出のべ人数：24名】	171
2. 治安・防災関連雇 用対策事業	17,345	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、8事業を実施した。 ①消防予防課：危険物防火対象物施設データ整理事業 ②維持課：交通安全施設点検事業 ③監理課：道路改良等要望箇所電子データ化事業 ④危機管理課：木造住宅耐震化等促進啓発事業 ⑤消防総務課：中高層建築物警防計画電子データ化事業 ⑥消防総務課：伊勢市消防のあゆみ編さん事業 ⑦消防総務課：消防水利施設等のデータベース化事業 ⑧危機管理課：防犯パトロール事業 【新規雇用創出のべ人数：17名】	171
3. 環境関連雇用対策 事業	12,758	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、6事業を実施した。 ①維持課：公園園路等集中清掃事業 ②清掃課：資源拠点ステーション（大湊）排出指導及び監視業務 ③環境課：市営墓地及び廃棄物投棄所環境管理事業 ④環境課：一般住宅・共同住宅における排水設備調査台帳確認事業 ⑤環境課：墓地管理調査事業 ⑥人権政策課：管理地樹木剪定等事業 【新規雇用創出のべ人数：23名】	171
4. 農林漁業関連雇用 対策事業	2,499	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、1事業を実施した。 ①農林水産課：森林病虫害防除事業 【新規雇用創出のべ人数：3名】	171

5. 観光関連雇用対策事業	2,948	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、1事業を実施した。 ①交通政策課：内宮周辺交通調査 【新規雇用創出のべ人数：6名】	171
6. 子育て関連雇用対策事業	2,138	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、2事業を実施した。 ①教育総務課：幼保一体化に係る推進事業 ②こども課：市立保育所施設集中安全対策事業 【新規雇用創出のべ人数：3名】	171
7. 情報通信関連雇用対策事業	25,079	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、9事業を実施した。 ①課税課：固定資産税家屋調査票デジタル化及び照会システム導入事業 ②広報広聴課：伊勢市みえる化事業推進調査事業 ③戸籍住民課：外国人登録法廃止に伴う閉鎖原票照会事業 ④情報調査室：事務事業データ整理事業 ⑤二見総合支所地域振興課：保存文書等整理事業 ⑥課税課：軽自動車保有状況実地調査事業 ⑦管財契約課：建物台帳整備事業 ⑧行政経営課：財務情報等データ化事業 ⑨用地課：市有地台帳整備事業 【新規雇用創出のべ人数：19名】	171
8. 介護・福祉関連雇用対策事業	2,094	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、4事業を実施した。 ①長寿課：寿バス乗車券年度更新案内事業 ②介護保険課：介護給付適正化調査事業 ③障がい福祉課：伊勢市障がい者ニーズ調査 ④生活支援課：生活保護費債権管理事業 【新規雇用創出のべ人数：5名】	171
9. 観光関連ふるさと雇用再生事業	18,190	地域の雇用再生のため、地域求職者等を雇い入れて実施する事業として、次の2事業を実施した。 ①観光企画課：伊勢市観光推進事業 ②観光企画課：観光地における災害避難マニュアル作成モデル事業 【新規雇用創出のべ人数：6名】	171
10. 介護福祉関連ふるさと雇用再生事業	17,851	地域の雇用再生のため、地域求職者等を雇い入れて実施する事業として、次の1事業を実施した。 ①障がい福祉課：日中一時支援事業 【新規雇用創出のべ人数：7名】	171

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 2. 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 174,395 千円
 決算額 173,333 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				173,333

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢地域農業共済事務組合負担金	36,152	農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。	173

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 48,308 千円
 決算額 16,575 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,734		1	7,840

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農業経営基盤強化促進事業	331	優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。 認定農業者件数 111件 (平成23年3月末現在)	173
2. 農業近代化資金等利子補給補助金	929	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のため借り入れた資金の利子補給を行った。	173
3. 遊休農地活用事業	1,000	近隣農地へ悪影響を与えるなどの遊休農地を解消、活用するために、草刈り、耕起、菜種等の作付等を行い、景観形成や農地として再活用する取組を行った。	173
4. 農地利用集積円滑化事業	1,169	担い手への農地の利用集積を促進するため、市が承認する農地利用集積円滑化団体が行う効率的な農地の利用調整活動を支援し、認定農業者等の効率的な農地利用の推進を図った。	173
5. 生産調整推進対策事業	2,745	地域水田農業ビジョンの実現に向け、生産調整実施状況の確認等を伊勢市水田農業推進協議会へ委託し、米穀の需給と価格の安定を図った。	173
6. 農業振興地域整備促進経費	1,633	農業諸情勢の変化、地域の土地利用の動向を踏まえ、地域の活性化に向けた適切で有効な土地利用との調整を図り、農用地の見直しを行った。また、農業振興地域図データの作成を行った。	173
7. 農業振興補助金	186	農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。	173

8. 戸別所得補償制度 推進事業	6,931	農業作物の販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図った。	173
9. 地産地消推進事業	1,207	市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。また、100%市内産米の米飯給食の実施をめざし、学校給食用米（みえのえみ）の市内での生産を推進した。	175
10. 特色ある農産物づくり支援事業	250	有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。	175
11. 農業体験学習事業	66	食育推進の一環として、学校が行う食育に関する取り組みのうち、農業体験学習を進めるにあたっての支援（児童による稲刈り等農作業体験の機会創出）を行い、食の大切さ、食をはぐくむ産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 83,195 千円
決算額 79,569 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	88		42,248	37,233

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二見しょうぶロマンの森維持管理経費	48,518	指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設の管理運営を行った。 ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合 ・開館日数 311日 ・来客人数 120,833人	175
2. 伊勢市都市農山村交流促進施設維持管理経費	2,406	横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。 ・指定管理者 横輪町活性化委員会 ・開館日数 269日 ・来客人数 16,882人	175
3. 農地・水・環境保全向上対策事業	15,463	農業の持つ多面的機能の適正な発揮のため、農業者・非農業者の地域ぐるみでの保全向上活動を促進し、国・県と共に支援を行った。 活動実施組織 22組織	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,557 千円
 決算額 3,547 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6			3,541

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 松阪食肉公社施設維持管理対策補助金	3,386	食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、主要株主により支援を行った。	頁 175
2. 畜産振興一般経費	161	宮崎県で発生した口蹄疫のウイルス侵入防止と農家の負担軽減を図るため、消毒薬を市内の畜産農家に提供した。	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 542,048 千円
 決算額 364,017 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
97,080	149	233,600	12,524	20,664

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 土地改良事業補助金	48,595	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付件数・・・14件	頁 177
2. 県営ため池整備事業負担金	6,000	県営ため池等整備事業負担金 ○戸部神地区 事業内容 吐水槽工一式 事業期間 平成20年度～平成24年度 事業費 73,000千円 負担区分 工事費 国50% 県30% 市20% →伊勢市負担額 14,600,000円 →うち現年6,000,000円 繰越8,600,000円	177

<p>3. 県営かんがい排水 事業負担金</p>	<p>109,569</p>	<p>県営かんがい排水事業負担金 ○宮川2工区 事業内容 支線用水路一式 事業期間 平成17年度～平成23年度 事業費 140,000千円 負担区分 国50% 県25% 市町村15% 宮川用水10% →受益面積割 伊勢市11.7% →伊勢市負担額 2,457,000円 →うち現年702,000円 繰越1,755,000円 H21繰越982,800円 ○宮川4工区 事業内容 幹線用水路L=680m 事業期間 平成18年度～平成24年度 事業費 540,000千円 負担区分 国50% 県25% 市15% 宮川用水10% →伊勢市負担額 81,000,000円 →うち現年30,000,000円 繰越51,000,000円 H21繰越17,471,000円 ○宮川4工区その2 事業内容 幹線用水路L=600m 事業期間 平成19年度～平成25年度 事業費 428,000千円 負担区分 国50% 県25% 市15% 宮川用水10% →受益面積割 伊勢市99.938% →伊勢市負担額 64,160,196円 →うち現年11,692,742円 繰越52,467,450円 H21繰越48,720,000円</p>	<p>177</p>
<p>4. 経営体育成基盤整 備事業負担金</p>	<p>16,204</p>	<p>県営経営体育成基盤整備事業負担金 ○有田地区 事業内容 幹線用水路一式 支線用水路L=1,590m 事業期間 平成17年度～平成25年度 事業費 312,600千円 負担区分 ・幹線(93,070,000円) 国50% 県27.5% 市町12.5% 地元10% →受益面積割 伊勢市13.504% ・支線(154,630,000円) 国50% 県27.5% 市町4.5% 地元18% →受益面積割 伊勢市1.2% →伊勢市負担額 1,654,522円 →うち現年250,122円 繰越1,404,400円 H21繰越3,481,286円 ○小俣地区 事業内容 幹線用水路L=600m 支線用水路L=1,000m 事業期間 平成21年度～平成26年度 事業費 194,400千円 負担区分 幹線(170,400,000円) 国50% 県27.5% 市12.5% 宮川用水10% 支線(20,000,000円) 国50% 県27.5% 市4.05% 小俣改18.45% 農道(4,000,000円) 国50% 県27.5% 市22.5% →伊勢市負担額 23,010,000円 →うち現年8,585,000円 繰越14,425,000円 H21繰越3,888,000円</p>	<p>177</p>

5. 県営ふるさと農道 整備事業負担金	60,130	県営ふるさと農道整備事業負担金 ○二見町松下地区 事業内容 橋台工 1基 事業期間 平成10年度～平成24年度 事業費 150,000千円 負担区分 県65% 市町村35% →伊勢市負担額 52,500,000円 →うち現年29,050,000円 繰越23,450,000円 H21繰越額31,080,000円	177
6. 農道整備事業	17,569	農道を整備することで、農道機能を保持し農村環境の整備を図った。 ・檜原町地内 農道整備工事 ほか7件	177
7. 農業用排水路整備 事業	12,356	農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。 ・栗野町地内 農業用排水路（その1）号工事 ほか8件	177
8. 給水栓整備事業	3,084	当該地区の農業用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。 ・西豊浜町地内 給水栓設置 50箇所	177
9. 農村振興整備事業	88,252	農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。 ・西豊浜町地内 集道3-1号工事 ほか6件	177

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 141,158 千円
決算額 124,121 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	131		28,840	95,150

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 桧尻排水機場樋管 解体経費	9,983	国土交通省による勢田川護岸工事実施に伴い、占用物件である桧尻排水機場樋管を撤去する必要が生じたことから、それにかかる経費を負担した。	179
2. 排水機整備事業	41,289	大堀川改修により東大淀排水機場の排水機能の低下が生じ、湛水時間が増大する状態となるため、機能増設を行い農地の浸水被害防止を図った。	179

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	38,558	<p>排水機場の定期的なポンプ、エンジンのオーバーホール、除塵機等設備の整備補修等を実施することにより、施設の機能保持と耐用年数の確保を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とし、土地改良施設維持管理適正化事業に加入することで、事業費の90% (国:30%、県:30%、市:30%)の交付金を受けるものである。</p> <p>また交付金90%のうち市負担30%と、2.5%の事務費を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。</p> <p>(概要)</p> <p>○土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金</p> <p>【旧伊勢分】 2,665,000円 施行施設 一色町 一色排水機場 有滝町 社護神排水機場 村松町 村松排水機場 東大淀町 新堀排水機場</p> <p>【旧二見分】 2,535,000円 施行施設 二見町西 西排水機場 二見町江 江排水機場 二見町三津 三津排水機場</p> <p>【旧小俣分】 2,340,000円 施行施設 小俣町元町 汁谷川排水機場</p> <p>負担区分 国 30% 県 30% 市 40% (うち30%は拠出金)</p> <p>○排水機場補修工事</p> <p>【旧伊勢分】 24,011,400円 施行施設 一色町 一色排水機場</p> <p>【旧二見分】 7,006,650円 施行施設 二見町江 江排水機場</p>	177

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 22,795 千円
 決算額 17,463 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
473	4,793		117	12,080

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 環境保全林整備事業	952	市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林において、適正な間伐による、保全林機能の向上を図った。 間伐 2.5ha	179
2. 森林病虫害防除事業	8,012	海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布17.2ha 伐倒破砕30.5m ³ 樹幹注入229本	179
3. 獣害防止事業	1,369	伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林作物等の被害軽減に努めた。 猪・鹿:3,000円/頭 猿:10,000円/頭 実績 猪280頭 鹿113頭 猿19頭	179

4. 森林環境創造事業	777	音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行っている。平成14年度からいせしま森林組合に委託しており、本年度は4.24ha実施した。	179
----------------	-----	---	-----

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 4,132 千円
決算額 3,445 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	110			3,335

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 魚礁効果調査事業	743	昭和54年から平成10年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁について、設置状況と魚類等の集状況を調査し、適切な施設の維持管理及び設置効果を検証し、操業の効率性・安全性の向上を図った。 ・調査回数 5回	181
2. アサリ養殖振興事業補助金	1,063	主力水産物であるアサリ資源の減少により、生産高がここ数年激減しているため、伊勢市各地先にアサリ種苗を放流して資源の増大、漁家経営の安定を図った。	181
3. 種苗(クルマエビ等)育成事業補助金	144	伊勢湾に小型底曳網漁業等で漁獲されるクルマエビ・ヨシエビ・クロダイ・ヒラメの各種苗を放流して、資源の増大と生産の安定を図った。	181
4. 稚鮎等放流事業補助金	600	宮川本支流にアユ・ウナギの稚魚を放流して、資源の増大と生産の向上を図った。	181
5. 水産教室実施事業	133	市立北浜小学校5年生(33名)に伊勢市の漁業に関する講習、施設見学、体験学習を実施し、将来つくりべき職業のひとつとして考えてもらうよう、漁業への啓発を図った。	181
6. 村松漁港荷捌所修繕事業	77	鳥類侵入防止ネットを修繕したことで、水産物の糞、羽根などによる被害を解消し、衛生的な環境の確立を図った。	181
7. 干潟保全活動支援事業	685	地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。	181

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 4. 漁港建設費

(単位 千円)

予算現額 189,784 千円
 決算額 149,451 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,500	107,427	16,900	217	9,407

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 豊北漁港整備事業	147,336	○豊北漁港浚渫工事 航路に土砂が堆積し、船舶の航行に支障をきたしているため、航路浚渫を行い、船舶の安全航行の確保を図った。 ○豊北漁港用地護岸整備工事 漁具の修理保管用地を確保するため、用地護岸の整備を行った。	頁 181
2. 大淀漁港物揚場修繕事業	2,115	○大淀漁港物揚場修繕工事 老朽化した物揚場を整備し、漁業者が安全・安心な作業を行えるように、修繕を行った。	183

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 50,414 千円
 決算額 48,935 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,556			45,379

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消費生活センター運営事業	3,929	10月に消費生活センターを設置し、架空請求や悪質商法、クーリング・オフなど、増加する消費生活にまつわるトラブルに関し、専門相談員による相談を行った。また、相談者の個人情報保護のため、相談室を設置した。消費生活相談件数 240件	183

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 38,374 千円
 決算額 31,552 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,262			30,290

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 商工制度資金利子補給事業補助金	51	平成18年末までに小俣町商工会の斡旋により小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じた利子の補給補助を行い、小俣町商工会管内の商工業者の設備資金及び運転資金の円滑化を図った。補助件数 9件	183
2. 小規模事業資金保証料補給補助金	9,834	伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行い、設備資金及び運転資金の円滑化を図った。補助件数 201件	183
3. 経営改善普及事業補助金	7,200	小俣町商工会が、商工業者に対して実施する経営改善普及事業に要する経費に対し、補助金を交付することにより商工業の発展を図った。	183
4. 中小企業相談所事業補助金	9,500	伊勢商工会議所内に設置された中小企業相談所が実施する中小企業への経営改善指導事業等に対し、補助金を交付し、中小企業の振興を図った。	183
5. TMO構想推進協働事業	1,681	賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場として中心市街地を再生・活性化させるために、中心市街地に設置された「いせTMO」の活動拠点において、地域住民、商業者、商工会議所と連携を図りながら、賑わいを創出する事業の活動支援や、取り組みについての情報交換を実施した。 また、各商店街や中心市街地で開催される各種イベント等の周知やチャレンジショップ事業募集などの情報発信を行った。事業着手年度 平成16年度～	183

6. TMO構想推進事業補助金	2,023	商店街の集客力及び機能回復を促進することを目的に、いせTMO（事務局：商工会議所）が実施する事業に補助金を交付した。 (1)空店舗等対策事業 ①活用モデル事業 1件 ②チャレンジショップ事業 2件 (2)各種調査事業 空店舗調査 (3)商業まちづくり補助金事業 4団体	183
7. がんばる商店街集客促進事業費補助金	1,263	商店街を中心とした中小商業者が、地域住民の交流を図り、地域一体となって市内の賑わいを創出し商店街の活性化を図るとともに、参加店の意識改革と新規顧客の獲得を目指す事業に補助金を交付した。 補助件数1件	185

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 82,890 千円
決算額 79,934 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,376	77,558

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 産業支援推進一般経費	7,115	企業支援員を配置し、市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、企業訪問を通じて製造業者個々の課題を把握し、その解決に向け関連支援機関等への橋渡しや、支援策の紹介を行った。	185
2. ものづくり推進事業	4,115	中小製造業者等が行う新製品、新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」を交付した。 また、人材育成を図る「ものづくりセミナー」を開催し、景気低迷による余裕時間を活用した従業員教育に貢献した。	185
3. 起業支援推進事業	4,876	創業支援員を委託し、起業者に対して課題解決のアドバイスや経営・財務などの相談支援を行った。また、起業啓発イベントや実務セミナーなどを開催し、起業の気運向上を図った。	185
4. 産業支援推進施設管理経費	7,704	産業振興の拠点としての産業支援センター施設の適正な維持管理に努めた。	185
5. 企業立地推進事業	1,443	産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、情報収集などを実施した。	185
6. 工場等誘致奨励事業	2,372	「伊勢市工場等誘致奨励条例」に基づき、奨励金を交付した。 奨励金実績 2,371,950円 (2件)	185

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 159,088 千円
 決算額 146,596 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,581			3,082	141,933

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 平家の里施設管理事業	619	指定管理者の応募がなく、運営を休止していた平家の里施設の維持管理経費。施設の利活用について、地元と協議を重ね、農林漁業体験実習館については集会施設として活用を図るため新条例を制定。平家の里キャンプ村、休憩所、水車小屋、野外緑地広場、製炭がまは、解体、譲渡等の処分を行うこととなった。	185

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 初参り旅客接遇事業負担金	450	伊勢市、地元12団体による外宮前大晦日会や(社)伊勢市観光協会が年末年始の来訪者に対して、観光案内、ふるまいなどを行い出迎えた。	187
2. 案内所運営委託事業	9,491	外宮前・宇治山田駅構内・二見浦観光案内所で、観光客の案内を行った。(社)伊勢市観光協会、二見浦観光物産組合に委託 ・外宮前観光案内所 97,400件 (うち外国人 2,153件) ・宇治山田駅構内観光案内所 31,946件 (うち外国人 527件) ・二見浦観光案内所 12,446件 (うち外国人 336件)	187
3. 観光協会負担金	5,878	(社)伊勢市観光協会の財政基盤の確立と観光協会自体が弾力性をもって観光の推進に努めた。	187
4. 伊勢市観光案内所整備事業	9,570	東海旅客鉄道(株)伊勢市駅構内に、観光案内所を開設するための設計と工事を行い、開所準備を進めた。	187

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事業	6,719	資料館である賓日館の運営及び維持管理を、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることにより、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図った。施設見学はもとより、各種自主催事を実施し、より多くの集客に繋げた。 ○委託料 5,700千円(指定管理料) ○入館者数 H22年度 32,898人 ・賓日館屋根修繕工事等 1,019千円	185

2. おもてなしスキル アップ事業	600	近年増加している伊勢を訪れる外国人観光客に特化したおもてなしを考え活動していく団体「Welcomeいせの会」を設立し、外国語に対応した行き先案内をサポートする「案内カード」を作成した。	187
3. 春の行事負担金	1,300	日本さくらの名所百選の宮川堤において(社)伊勢市観光協会との共催、宮川保勝会の協力により、夜桜のライトアップとぼんぼりで花見客を出迎えた。 (4月1日～10日)	187
4. 花火大会開催負担金	10,000	52業者の花火師が参加。打上花火の部52組、スターマインの部10基の2部門で競われ、全国トップレベルの花火玉約9,000発が打ち上げられ、約23万人が観覧した。 また、大会翌日に「全国花火サミット」を開催した。	187

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化推進費

(単位 千円)

予算現額 11,400 千円
決算額 11,400 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			12	11,388

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 民俗伝統行事推進 事業負担金	6,400	平成25年に行われるお白石持行事に向けて、平成23年2月11日に第62回神宮式年遷宮御白石奉獻団本部並びに奉獻団連合会を結成した。 また、お白石持行事のリーフレットを3回、合計18万部発行するなど、情報発信に努めた。	187
2. 伊勢のまつりブラン ド化推進事業	5,000	10月15日に外宮前「お木曳の道」にて、日本全国の有名な祭り21団体約900名による響演「祭りのまつり」が開催された。 また、15日、16日には伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が実施された。	189

(款) 9. 土木費 (項) 1. 土木管理費 (目) 1. 土木総務費

(単位 千円)

予算現額 231,586 千円
 決算額 229,103 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,850			223,253

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 地籍調査推進事業	12,323	国土調査法に基づく地籍調査について、調査区域を定め、調査区域内の地籍（地番・所有者・地積・地目・境界）の整備に努めた。 ○調査区域 ①岩渕3丁目・岩渕町 調査面積 0.12 k m ² 調査後筆数 329筆 実施工程 D・E・F1・F2・G工程 ②岩渕2丁目 調査面積 0.07 k m ² 調査前筆数 413筆 実施工程 E1工程	頁 189

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 198,744 千円
 決算額 195,264 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,285				190,979

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 道路管理経費	7,538	適切な道路管理を行うため、道路の拡幅及び道路用地の寄付採納を行った。	頁 189
2. 道路台帳整備経費	6,615	道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 (概要) ・道路台帳修正 新規認定 6.9 k m 廃止及び未共用 10.5 k m 改良 0 k m	頁 189

用 地 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	8,583	建築行為等に際して、道路後退用地の買収等を行い、狭 あい道路の解消を図った。 (概要) 公共用地の取得(買収) 8件 地権者数 13人 筆数 14筆 面積 143.22㎡ 公共用地の取得(寄付) 6件(報償金1件含む) 地権者数 10人 筆数 7筆 面積 41.35㎡	189

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 126,593 千円
 決算額 126,153 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
36,453				89,700

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	15,308	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装 整備を行った。 また、危険箇所、老朽箇所を補修し、道路の安全確保と 生活環境の改善を図った。 (概要) 【旧伊勢分】 15,307,950円 ・舗装工事 3件 L = 1,113.0m A = 2,232.0㎡	191

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 545,613 千円
 決算額 471,674 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
97,755		303,400	15,189	55,330

監 理 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担 金	8,744	三重県が施行した道路改良事業に対し、負担を行った。 (鳥羽松阪線、伊勢大宮線、横輪南勢線、伊勢南勢線、館 町通線、伊勢南島線、一般国道42号、東大淀小俣線)	191

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路改良事業	59,298	<p>市民生活に密接した道路の拡幅等を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>①現年分</p> <p>設計業務 2路線 設計業務一式</p> <p>測量業務 4路線 測量業務一式</p> <p>調査業務 3路線 調査業務一式</p> <p>設計修正業務 1路線 設計修正業務一式</p> <p>検討業務 1路線 検討業務一式</p> <p>調査測量業務 1路線 調査業務・測量業務一式</p> <p>道路改良 1路線 L=31m</p> <p>道路舗装 1路線 A=404㎡</p> <p>防護柵等設置 1路線 22m</p> <p>②平成21年度からの繰越</p> <p>設計業務 1路線 設計業務一式</p> <p>道路改良 1路線 L=121m</p> <p>道路照明灯設置 1路線 3箇所</p> <p>法面改良 1路線 L=8.5m</p> <p>③平成21年度から一部繰越</p> <p>道路改良 1路線 L=103m</p>	191

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	403,632	<p>市民生活に密接した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。</p> <p>また、危険箇所等の補修を行い、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>【旧伊勢分】 327,323,850円</p> <p>①現年分</p> <p>・測量設計等 59件</p> <p>・一般改良 22件 L=3,217.06m</p> <p>②平成21年度からの繰越分</p> <p>・一般改良 8件 L=2,931.3m</p> <p>・排水工 1件 一式</p> <p>【旧二見分】 45,692,850円</p> <p>①現年分</p> <p>・測量設計 11件</p> <p>・一般改良 4件 L=516.6m</p> <p>②平成21年度からの繰越分</p> <p>・一般改良 2件 L=531.8m</p> <p>【旧小俣分】 14,969,850円</p> <p>①現年分</p> <p>・測量設計 6件</p> <p>・一般改良 2件 L=191.0m</p> <p>②平成21年度からの繰越分</p> <p>・一般改良 2件 L=124.1m</p> <p>【旧御菌分】 15,645,000円</p> <p>①現年分</p> <p>・一般改良 1件 L=43.0m</p> <p>②平成21年度からの繰越分</p> <p>・一般改良 4件 L=376.7m</p>	191

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 53,010 千円
 決算額 52,192 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,027		54	47,111

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全施設整備事業	20,826	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 【旧伊勢分】 14,504,700円 ・道路反射鏡 50基 ・道路照明設備 4基 ・区画線工 4,091.9m ・減速帯 3.3m ・ガードレール 21.7m ・カラー舗装 39.25㎡ ・カラー路面表示 203.0m 【旧二見分】 1,536,150円 ・道路反射鏡 3基 ・区画線工 1,694.0m ・カラー舗装 12.4㎡ 【旧小俣分】 3,399,900円 ・道路反射鏡 13基 ・区画線工 1,088.0m ・ガードレール 24.0m ・カラー舗装 7.4㎡ ・視線誘導標 4本 【旧御菌分】 1,385,265円 ・道路反射鏡 9基	193

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 258,953 千円
 決算額 177,426 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
115,388		50,100	1,979	9,959

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 神久1号線ほか1線整備事業(交付金)	6,260	本路線は幅員が3~4mと狭く車両の対向も困難であることから、朝夕の通勤通学時には車両と歩行者が混在し、事故が発生しやすい状況にあるため、災害時への機能向上、また交通事故防止や交通渋滞緩和の解消等、安全・安心に通行できる道路を目指し、道路整備を進めている。また、今年度は待避所を1箇所整備した。 (概要) 道路改良 20m ◇社会資本整備総合交付金事業	193

<p>2. 西36号線ほか1線整備事業（交付金）</p>	<p>26, 148</p>	<p>本路線周辺の主要道路は小学生の通学路として、またバス路線として利用されているが、家屋が密集しており道路幅員が狭い状況であるため、安全性の確保及び道路機能の向上を図り、道路整備を進めている。また、今年度は用地の買い取りを進め、全延長315mの内297mを整備し、事業の進捗を図った。</p> <p>（概要）</p> <p>①現年分 調査業務 一式 用地 $A = 43.64 \text{ m}^2$</p> <p>②平成21年度から繰越 道路改良 $L = 297 \text{ m}$ 用地 $A = 258.31 \text{ m}^2$ 補償 3名</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	<p>193</p>
<p>3. 裏浜第3線整備事業（交付金）</p>	<p>7, 746</p>	<p>本路線地区の緊急避難路は、家屋が密集し道路幅員が狭いため、安全の確保が求められる。このため、国土交通省が進める西南海岸の堤防整備に併せ、本路線を整備し、防災機能の向上、地域住民の安全確保を図った。また、今年度で439.9mの区間で舗装工事を行い、全線901mを完了した。</p> <p>（概要）</p> <p>道路舗装 $A = 1,890 \text{ m}^2$</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	<p>193</p>
<p>4. 柏東大淀線整備事業（防衛）</p>	<p>59, 792</p>	<p>本路線は東大淀町から国道23号へ通じる生活道路であり、また、隣接する柏町から災害時の避難場所である東大淀小学校へ通じる最短ルートでもあるが、道路幅員が狭く道路機能が著しく低い状態である。また、本路線上空を陸上自衛隊明野駐屯地の航空機が低空で進入離脱を繰り返しており、航空機事故等緊急時の救助活動、避難活動に支障をきたす恐れがある。そのため、平成18年度から防衛省補助事業として整備を行っているものである。また、今年度は全延長703mの内275mを整備し、事業の進捗を図った。</p> <p>（概要）</p> <p>○平成21・22年度継続費 道路改良 $L = 275 \text{ m}$ 安全施設設置工 一式</p> <p>○平成22・23年度継続費 道路改良 $L = 140.5 \text{ m}$</p> <p>◇防衛施設周辺民生安定施設整備事業（補助）</p>	<p>193</p>
<p>5. 神路線ほか2線整備事業（交付金）</p>	<p>52, 500</p>	<p>本路線は、伊勢神宮外宮と月夜見宮、伊勢市駅を結ぶ参宮道であり、神話をモチーフにした石張り舗装の景観に配慮した舗装が施されている。また、本路線周辺地域の避難施設である厚生小学校への避難路でもあるが、経年劣化により段差が生じ、歩行者の通行に支障をきたしているため、緊急時の安全性確保と沿道施設の利用促進を図り、本路線の整備を進めている。また、今年度は設計業務とともに本町2号線と本町宮川堤線の舗装工事を行い、事業の進捗を図った。</p> <p>（概要）</p> <p>○平成21年度から繰越 設計業務 一式 道路舗装 $A = 1,380 \text{ m}^2$</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	<p>193</p>

6. 浦口辻久留1号線 整備事業（交付 金）	24,980	本路線は、周辺地域の緊急避難先への避難路として、また 通学路として利用されているが、崖下であり、その斜面が 小規模な土砂崩れや樹木の倒壊等により風化が進んでいる ことから、地域住民の安全な生活環境を確保するため、道 路整備を行った。また、今年度で測量設計等と法面吹付工 事等を行い事業を完了させた。 （概要） ○平成21年度から繰越 測量業務 一式 設計業務 一式 調査業務 一式 法面改良 L=48.8m 用地 A=42.82㎡ ◇社会資本整備総合交付金事業	193
---------------------------------	--------	---	-----

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 1. 河川総務費

(単位 千円)

予算現額 101,404 千円
 決算額 101,150 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
78				101,072

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 宮川左岸高水敷利 用計画策定経費	1,196	宮川床上浸水対策特別緊急事業で生じる宮川左岸の高水 敷の利用計画を策定するため、市民の代表等からなる「宮 川左岸高水敷利用計画懇談会」の意見を参考にし、素案を 作成した。 （概要） ◇宮川左岸高水敷利用計画図作成業務委託 一式 ◇宮川左岸高水敷利用計画懇談会 3回	193

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 2. 勢田川対策費

(単位 千円)

予算現額 17,569 千円
 決算額 16,246 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,758				5,488

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 勢田川浄化経費	14,621	平成5年10月から、宮川7.4km地点（辻久留2丁目 地内）で取水し、勢田川5.1km地点（小田橋下流） に、0.7m³/秒以下、4.4km地点（吹上ポンプ場付 近）に0.3m³/秒以下の導水を行っている。 （平成22年度稼働日数285日）	193

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 11,880 千円
 決算額 10,893 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		10,100		793

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川改良事業	10,893	護岸の侵食が著しい河川の改良を行い、機能の改善を進めた。 (概要) 河川改良 2河川 L=54m	195

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 5. 河川改修事業費

(単位 千円)

予算現額 216,405 千円
 決算額 208,760 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
120,351		7,600	17,821	62,988

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 準用河川大堀川支 川改修事業(防 衛)	208,760	土地形状の変化や排水流出量の増加に伴う河川の断面不足により、豪雨時の浸水被害が近年多発している。浸水被害の防止が急務となっているため、河川改修を進めている。また、今年度は築堤護岸工及びポンプ場移設工を行った。 (概要) ①現年分 設計業務 一式 補償 2名 ②平成21・22年度継続費 事前措置検討業務 一式 施工延長 右岸 L=223m 左岸 L=274.4m 護岸工A=2,378㎡ ポンプ場移設 水門設備工 一式 樋管本体工 一式 機械設備工 一式 電気設備工 一式 ③平成22・23年度継続費 水位調査業務 一式 施工延長 右岸 L=1,290m 左岸 L=1,277.3m 護岸工A=1,078㎡ ◇防衛施設周辺障害防止事業(補助)	195

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 7. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 168,260 千円
 決算額 55,413 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		47,100		8,313

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 排水施設整備事業	55,413	豪雨時の急激な増水による浸水を防止するとともに、生活環境の向上を図るため、排水路の整備、排水機場の整備等を進めている。 (概要) 調査業務 一式 1 機場 設計業務 一式 1 排水路 申請書類作成業務 一式 1 ポンプ場 機械設備工 一式 1 機場 (平成23年度へ一部繰越) 電気設備工 一式 1 機場 (平成23年度へ一部繰越) 排水路改良工 一式 1 排水路 (平成23年度へ一部繰越) 補償 1名 (平成23年度へ繰越)	頁 197

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 29,735 千円
 決算額 23,736 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,500	4,235	7,300	200	3,501

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 県営事業地元負担金	8,595	三重県が施行した海岸環境整備事業、港湾改修事業に対し、負担を行った。 海岸維持：宇治山田港（大湊・二見）、北浜地区、神前地区、松下地区 港湾改修：宇治山田港（大湊）	頁 197
2. 海岸環境整備経費	12,966	西南海岸北浜堤防の緩傾斜法面及び広場を緑化し、海岸環境の再生を進めた。 (概要) ・緑化工事 村松町 9,600㎡ 東大淀町 1,100㎡ ・植栽工 東大淀町 115本 (平成21年度から一部繰越)	197

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 1. 都市計画総務費

(単位 千円)

予算現額 1,818,405 千円
 決算額 1,812,794 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,910	371		4,000	1,806,513

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市道路整備プログラム策定事業	5,734	平成20年度から平成21年度にかけて、未整備の都市計画道路を対象として、必要性及び計画線形・幅員等について検証し、見直しを行った。これを踏まえ、都市計画道路を含めた市内の幹線道路について、効率的・効果的な道路整備を推進するため、道路整備の優先度等を整理する伊勢市道路整備プログラム案を作成した。	199
2. 景観形成推進事業	6,993	平成21年10月1日に発効した伊勢市景観計画の中で沿道景観形成地区を指定した。行為の届出制度を運用する上で必要となる「景観ガイドライン」を、沿道ごとの景観特性を踏まえ12地区別に作成し、良好な景観形成の事業を推進した。 また、内宮おほらい町地区と二見町茶屋地区において、建築物又は工作物の建設において、助成基準に即した外観の修景にかかる費用の1/3とし、建築物は100万円、工作物は50万円を上限に、補助金として交付した。	199

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 900,529 千円
 決算額 764,011 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
50,140		621,000	19,493	73,378

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市駅周辺整備事業	9,416	社会資本整備総合交付金(旧まちづくり交付金)を活用し、伊勢市駅周辺整備のための調査を行うとともに、まちづくり活動推進事業として地域のまちづくり活動の支援や花と緑のまちづくり事業の推進を行った。また、都市再生整備計画事業(旧まちづくり交付金事業)の完了に伴う事後評価を実施した。 (概要) ①現年分 ◇まちづくり計画推進事業(事後評価)業務委託 ◇まちそだて推進事業委託 ◇花と緑のまちづくり事業 ②平成21年度からの繰越 ◇民間事業立上げ支援調査(外宮参道)業務委託	199

2. 小俣町本町地区周 辺整備事業	1,848	社会資本整備総合交付金（旧まちづくり交付金）を活用し、歴史的資源を活かした市民参画によるまちづくりを進めた。また、都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金事業）の完了に伴う事後評価を実施した。 （概要） ◇まちづくり計画推進事業（事後評価）業務委託 ◇本町再発見活動事業委託	199
3. 交通施設バリアフ リー化事業	58,911	高齢者・障がい者等の移動の円滑化を促進し、高齢社会の到来に備えるとともに、障がい者の自立と社会参画の要望に応えるため、鉄道事業者が行う鉄道駅における移動の円滑化のためのバリアフリー化に対して補助を行った。 （概要） 平成21年度から繰越 ◇JR・近鉄伊勢市駅エレベーター設置等工事に伴う経費（工事）に対する補助 ◇近鉄宇治山田駅バリアフリー対応トイレ設置等工事に伴う経費（工事）に対する補助	199

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 宇治山田港旅客 ターミナル管理経 費	17,066	宇治山田港旅客ターミナル施設の維持管理にかかる経費を支出した。	199
2. 宇治山田港旅客 ターミナル施設撤 去経費	21,625	宇治山田港旅客ターミナル施設については、運行事業者が撤退し、様々な有効活用を検討したが、事業化には至らなかった。当初の目的からはずれ、施設の規模、能力に適應しない事業を始めることは、さらなる財政負担を重ねる可能性があるため、施設の撤去を行うこととした。	199

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市駅周辺整備 事業	449,546	社会資本整備総合交付金（旧まちづくり交付金）を活用し、平成18年度から伊勢市駅周辺地域の道路、公園の整備を段階的に行い、中心市街地の活性化、再生を図っている。特に道路整備においては、日赤神田線の一部（一之木4丁目～御菌町高向の区間）の供用開始を行った。 （概要） ①現年分 調査業務委託ほか4件 道路改良 L=1,122.2m 道路舗装 A=11,166.0m ² 用地 A=323.94m ² 補償 4名 ②平成21年度からの繰越 道路改良 L=166.5m 道路舗装 A=6,559.0m ² 補償 2名 ◇社会資本整備総合交付金事業	199

2. 小俣町本町地区周 辺整備事業	205,587	社会資本整備総合交付金（旧まちづくり交付金）を活用し、平成18年度から宮川駅周辺の道路環境整備を進め、市街地の活性化と鉄道の利用促進を図っている。特に道路整備においては、下卯起宮川駅野依橋線（小俣32号線）の全線供用開始を行った。 （概要） ①現年分 測量設計業務委託ほか9件 道路改良 L=368.3m 道路舗装 A=5,780.0㎡ 公園便所新設 1件 平屋建 29.5㎡ 用地 A=413.56㎡ 補償 3名 ②平成21年度から繰越 補償 1名 ◇社会資本整備総合交付金事業	199
-------------------------	---------	---	-----

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 69,237 千円
 決算額 54,167 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,566		10,900	16,833	18,868

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	35,721	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。 (秋葉山高向線、新国道)	201

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 街路施設改良事業	4,189	有料駐車場整備の効果や適正な整備・運営方法を検討することにより、事業に対する市民等の合意形成や最適な有料駐車場整備の推進を図った。	201

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 八日市場高向線整備事業(交付金)	14,257	社会資本整備総合交付金制度を活用し、市内の交通の円滑化及び災害時における円滑な通行可能路線を目的とし、整備を進めている。 (概要) 道路改良 L=23.4m (平成23年度へ繰越) 用地 A=99.9㎡ ◇社会資本整備総合交付金事業	201

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 6. 公園費

(単位 千円)

予算現額 188,219 千円
 決算額 123,094 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
52,697		64,800	945	4,652

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 高向西公園整備事業(防衛)	106,681	<p>現在地区内には、約1,700㎡の公園があるが、変形した形状で道路においても非常に狭く、防災上の避難場所指定がされていない状況にある。このため、航空機事故発生時等に緊急避難するための新たな公園を設置し、伊勢市防災計画にて緊急避難場所指定することにより、緊急避難場所を確保する。また、地域住民のレクリエーション及びコミュニティ活動の拠点となる公共広場の確保を図る予定である。今年度においては、公園用地の買収を完了した。</p> <p>(概要) 用地 A=1,981.50㎡ ◇防衛施設周辺民生安定施設整備事業</p>	頁 201
2. 都市公園安全・安心対策事業	15,321	<p>大規模地震に備えた市街地の防災性の向上や公園施設の戦略的な機能保全・向上対策による安全性の確保等、都市公園における総合的な安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を進めた。</p> <p>(概要) 公園改修工事 5公園 ◇社会資本整備総合交付金事業</p>	201
3. 公園改良事業	1,092	<p>人々のふれあいの場、レクリエーションの場として安全で快適に利用できる公園を提供するために公園整備として、フユザクラ計1,000本を目指し、植樹を進めた。</p> <p>(概要) 朝熊山麓公園花木植栽整備工事 フユザクラ115本植樹(計900本植樹完了)</p>	201

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 219,808 千円
 決算額 179,456 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,884	21		119,039	57,512

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 高齢者向け優良賃貸住宅家賃対策事業	9,605	<p>民間の土地所有者等による賃貸住宅の経営を誘導することにより、公営住宅を補完し高齢者の安全で安定した居住を確保するため、平成14年3月29日付で三重県知事より認定を受けた高齢者向け優良賃貸住宅供給計画に基づき、民間事業者により建設された高齢者向け優良住宅に対し、昨年度に引き続き住宅の家賃減額補助を行った。</p> <p>(施設概要)</p> <p>名称 仲林マンション正邦苑竹ヶ鼻 所在地 伊勢市竹ヶ鼻町字沖田198番地 概要 鉄筋コンクリート造 5階建 24戸 1DK 43.22㎡ 20戸 2DK 54.42㎡ 4戸 エレベーター、緊急通報装置の設置、内装のバリアフリー化</p>	頁 203
2. 住宅等改修事業	7,580	<p>市営住宅の機能保持と安全性確保のため、下記の工事を実施した。</p> <p>(概要)</p> <p>空家解体工事 対象 離宮山団地 1棟4戸 改修工事 対象 栗野団地 ガス管 朝熊第2団地 倉庫 15棟 朝熊改良住宅 倉庫 4棟</p>	203
3. 住宅等整備事業	36,036	<p>平成17年度に策定した「地域住宅計画」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を実施した。</p> <p>(概要)</p> <p>景観改善工事 中村団地 3棟10戸 高齢者仕様改善工事 倭C団地 1棟12戸 公共下水道接続工事 五十鈴川団地 1箇所 老朽化市営住宅入居者移転促進事業(移転補償) さくらアパートほか4団地 21戸 駐車場整備(舗装)工事 栗野団地ほか1団地 785㎡ 地上デジタル放送対応工事 リバーサイドせせらぎほか1団地 4箇所 浄化槽清掃業務委託 五十鈴川団地 1箇所</p>	203

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 2,031,317 千円
 決算額 2,010,875 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
47,006		61,500	387,104	1,515,265

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	4,549	救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。 軽量空気ポンベ 575千円(10本) 軽量消防用ホース 1,097千円(40本) 陽圧式化学防護服 545千円(2セット) 防火外套 1,005千円(8組)他	205
2. 救急車購入事業	29,484	車両更新計画により、老朽化した救急車1台を更新した。また、必要な機材を配備した。 高規格救急自動車 14,665千円 高規格救急自動車高度救命処置用資機材 14,700千円他	205
3. 消防自動車購入事業	117,954	車両更新計画により、老朽化した、救助工作車を含む消防自動車4台を更新した。 救助工作車車 1台 97,545千円 指揮車 1台 7,119千円 火災原因調査車1台 4,935千円 後方支援車 1台 4,620千円他	205
4. 消防本部庁舎改修経費	10,446	消防本部及び消防署並びに訓練塔の改修工事を行った。 消防本部及び消防署改修工事設計業務委託 2,079千円 (うち消防本部庁舎改修経費分 954千円) 消防本部及び消防署改修工事 22,031千円 (うち消防本部庁舎改修経費分 9,492千円) この工事は予算を常備消防費と消防施設費の両予算を合わせ事業執行した。 消防施設費は、消防署庁舎改修経費として執行した。	205

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 96,701 千円
 決算額 95,556 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,495		1,400	16,367	75,294

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	1,544	消防車両47台に積載してある消防用ホースを購入した。また、訓練等で使用する音響装置を購入した。 軽量消防用ホース 47本 1,115千円 消防PAサウンドシステム 一式 347千円他	207

2. 小型動力ポンプ付 積載車購入事業	4,590	消防団車両更新計画に基づき経年の小型動力ポンプ付積載車1台を更新した。 積載車 1台(厚生・早修分団) 4,536千円他	207
---------------------------	-------	---	-----

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 90,269 千円
決算額 63,997 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,495		19,300	386	24,816

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 消火栓新設負担金	7,437	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に単口消火栓12基を設置し、消防水利の普及を図った。 新設 12基 7,437千円	頁 207
2. 消防団車庫改修事業	1,032	消防団大湊分団車庫にホース乾燥塔を付設した。 消防団大湊分団ホース乾燥塔新設工事 1,018千円	207
3. 消防署庁舎改修経費	13,664	消防本部及び消防署並びに訓練塔の改修工事を行った。 消防本部及び消防署改修工事設計業務委託 2,079千円 (うち消防署庁舎改修経費分 1,125千円) 消防本部及び消防署改修工事 22,031千円 (うち消防署庁舎改修経費分 12,539千円) この工事は予算を常備消防費と消防施設費の両予算を合わせ事業執行した。 常備消防費は、消防本部庁舎改修経費として執行した。	207
4. 消防団車庫建替事業	20,297	老朽化した消防団車庫を防災拠点として活用できるよう待機室を備えた車庫を新設した。 消防団有緝分団車庫新築工事設計業務委託 1,246千円 有緝分団車庫解体工事 2,339千円 消防団有緝分団車庫新築工事 10,183千円 木造平屋建：建築面積59.62㎡ 延床面積56.31㎡ 消防団小俣分団小俣第2班車庫改築設計業務委託 1,342千円 消防団小俣分団小俣第2班車庫改築工事 12,800千円 (うち平成22年度執行額 5,120千円 平成23年度へ繰越 7,680千円) 鉄骨造2階建：建築面積50.40㎡ 延床面積76.60㎡ 他	207

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 515,837 千円
 決算額 447,375 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
199,691	6,739	144,300	7,567	89,078

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 自主防災隊補助事業	4,914	伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、自主防災隊及び自治区を行う防災事業・活動に対し補助を行った。 自主防災隊訓練助成金 1,890千円 63件 防災補助金 2,905千円 41件	頁 209
2. 防災行政無線管理運用経費	18,246	住民への災害情報伝達手段として整備した防災行政無線の管理運用に努めた。 同報系 親局4、中継局1、子局185 移動系 基地局4、移動局143	209
3. 地域防災力向上支援事業	4,593	○モデル地区において、地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の意識共有を行うとともに、防災情報を記載した地区の防災マップを作成した。 ○地域防災の中心的役割を担う自主防災隊のリーダーを対象に研修会を行い、自主防災隊の活性化を促進した。 ○地震からの被害を最小限にとどめるため、家具固定の知識を広く普及啓発することを目的に家具固定講習会を実施した。	209
4. 災害時要援護者対策事業	319	高齢者、障がい者などの災害時要援護者を対象に家具固定事業を実施した。 2回実施、計25世帯	209
5. 東日本大震災対策経費	10,948	○個人・企業からの支援物資を受け入れ、県を通じて被災地へ届けた。 ○被災者を受入れるため、市営住宅の空家補修を行った。 ○震災発生後、緊急消防援助隊として、消防部隊を千葉県市原市、宮城県仙台市へ派遣し、消火活動と人命救助を行った。	209
6. 備蓄物資整備事業	4,611	○伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資の整備推進を図った。	209

7. 防災行政無線整備 事業	339, 116	<p>合併前の市町村が整備したアナログ方式の防災行政無線（同報系）を統合・デジタル化し、全国瞬時警報システム（J - A L E R T）等との連動による災害情報の提供と防災メール、ファックス、電話自動応答、ケーブルテレビL字放送、エリアメール等を使用した情報提供体制の多重化を推進するため、伊勢市防災行政無線（デジタル）の整備を行った。</p> <p>○伊勢市防災行政無線（デジタル同報系）設備工事 ・親局設備（親卓）1基、（B型遠隔制御卓）1基 ・伊勢市役所東庁舎通常通信所（A型遠隔制御卓）1基 ・中継局設備 1局 ・屋外拡声子局設備（旧御菌地区）21局、（旧伊勢地区）2局 ○伊勢市防災行政無線（デジタル同報系）屋外拡声子局整備工事 ・屋外拡声子局設備（旧伊勢地区）12局</p>	209
8. 防災拠点施設整備 事業	21, 192	<p>既存市役所庁舎のリフォームにより一体的な活動スペースの確保及び機器の配置集約等を行い、市域全体の応急対策活動の中核拠点となる機能を確認し、地震防災力の向上を図った。</p> <p>○伊勢市防災行政無線室及び機器室設置工事 ○伊勢市災害対策本部会議室等設置工事 ○御菌総合支所災害対策スペース等設置工事</p>	209
9. 住宅・建築物耐震 改修等促進事業	17, 835	<p>○阪神・淡路大震災では昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、東海・東南海・南海地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。</p> <p>診断件数 95件 ○木造住宅耐震診断の結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>補強工事 8件 補強設計 10件 除却工事17件</p>	209

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防災行政無線管理 運用経費	788	<p>町内各自治会が地区遠隔装置を使用する際に発生する電話使用料のうち、基本料金に対して補助を行った。</p> <p>2, 350円×12月×27回線（26自治区） = 761, 400円</p>	209

御菌総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. CATV緊急防災 システム管理運営 経費	2, 303	<p>御菌町地域は災害時の緊急連絡手段としてCATVを利用した情報システムを運用しているため、転入、転居者等のCATVへの加入金、機器の設置費を負担し、地域の防災情報連絡手段の整備を実施した。</p> <p>負担金支出世帯 40世帯</p>	209

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位 千円)

予算現額 677,954 千円
 決算額 660,446 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,263	708		9,109	629,366

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校行事開催事業	3,305	子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援した。 ○科学創作展 ・内容 : 児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市科学創作教育振興会 ・開催日 : 平成22年9月4日(土)・5日(日) ・開催場所 : 伊勢市生涯学習センター ・委託料 : 195千円 ○教育美術展 ・内容 : 児童生徒の絵画、書写作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市教育美術展運営委員会 ・開催日 : 平成22年11月27日(土)・28日(日) ・開催場所 : 伊勢市生涯学習センター ・委託料 : 300千円 ○音楽演劇発表会 ・内容 : 新型インフルエンザの流行のため直前に中止。 ○伊勢まつり「小学生連合鼓笛パレード」「中学生吹奏楽」「公立幼稚園ダンス」 ・内容 : 伊勢まつりで鼓笛パレード・吹奏楽・幼稚園ダンスを行った。 ・委託先 : 伊勢まつり鼓笛・イベント実行委員会 ・開催日 : 平成22年9月25日(土)・26日(日) ・開催場所 : 県道鳥羽松阪線 尼辻交差点～伊勢市駅前 ・委託料 : 1,094千円	211
2. スクールバス運行事業	7,856	三重交通㈱にスクールバス運行業務を委託し、横輪・矢持地区の児童生徒、また囑託員のスクールバス運転手を雇用し、高麗広地区の児童生徒の通学上の安全を確保した。	211
3. 奨学金育英事業補助金	13,878	国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生・生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。 県外大学 : 53人 県内大学 : 21人 公立高校 : 59人 私立高校 : 13人 高専 : 7人	213

4. 私立学校等振興助 成事業	104, 136	<p>○私立幼稚園就園奨励費補助金（国の補助事業） 国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数： 981人 ・補助金支給額： 90,478千円 <p>○私立幼稚園保育料補助金 市内の私立幼稚園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数： 738人 ・補助金支給額： 3,690千円 <p>○幼児教育育成補助金 市内私立幼稚園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給額： 9,969千円 	213
-----------------------	----------	--	-----

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校教育支援事業	96, 077	<p>学習支援員や教育支援ボランティアを配置し、特別支援学級や通常学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行った。また、個に応じた学習指導や活動支援を行い、確かな学力の定着や、さまざまな教育活動の充実を図った。</p>	211
2. 子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業	1, 514	<p>児童生徒が地域の人との交流（ふれあい）や地域探検を通して、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を支援した。</p> <p>★「やさしいまち伊勢市発見大賞」の実施</p> <p>①ユニバーサルデザインの部、②発見・体験エピソード作文の部、③俳句・川柳・短歌の部の3部門に分けて市内の小中学生を対象に、作品を募集した。</p> <p>ユニバーサルデザインの部の上位入賞作品の中から、エレベーターのボタン表示を分かりやすくするアイデアを採用し、実現化を図った。また入選作品は伊勢市のホームページで紹介した。</p> <p>★事業推進校（小学校7校、中学校2校）において高齢者や障がいのある人の疑似体験を実施し、高齢者や障がいのある人への理解や共感につなげる活動が進められた。推進校の取組みの一部は、伊勢市のホームページでも紹介した。</p>	213
3. 非核・平和運営事業	982	<p>各中学校から生徒代表2名（男女各1名）と、引率教員2名、指導主事1名を派遣し、平和学習を深めた。報告会を開催するとともに、広報いせ、ケーブルテレビ、報告文集を作成し、広く市民に平和の尊さを伝えた。</p>	213

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 151,821 千円
 決算額 142,538 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			36	142,502

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 教育相談事業	6,570	小・中学生の教育、不登校及びいじめ問題等に関する相談をうけ、必要な助言を行うことにより、不登校児童生徒の早期学校復帰、いじめの解消を図ることができた。 教育相談件数 118件 臨床心理士によるカウンセリング 257件	頁 213
2. 不登校対策ハートケア事業	653	不登校児童生徒のための教育支援センター「NEST」では、通級する児童生徒一人ひとりの自立・学校復帰に向けて、個に応じた生活や学習の指導及び支援を行った。 通級児童生徒数 19名 相談件数(延べ件数) 943件 (電話685件、来所133件、学校訪問125件)	213
3. スクールアドバイザー事業	11,687	スクールアドバイザーによる学校への指導助言、情報提供により、各学校が抱える問題への早期対応を図ることができ、未然防止につなげることができた。 スクールアドバイザー件数 476件 緊急支援員派遣延べ日数 151日	213
4. 教育研究研修推進経費	3,037	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進め、市内小中学校の教育力向上に寄与した。 研究運営 課題研究プロジェクト 他4件 研修運営 研修講座 28講座	213
5. 教育研究所運営経費	1,249	教育研究に関する情報の発信、教育資産(研究紀要、教育実践ビデオ等)のデータベース化に努め、教職員の資質、教育力向上に寄与した。	213
6. 子どもリレーションシップ総合推進事業	11,280	「いじめ」の早期発見対応・未然防止のため「子どもの人間関係づくり」研究を行い、その成果を実践事例集にまとめ市内各校に配布した。研究推進のためモデル校を13校指定し、hyper-QUを実施しその分析に基づき学級集団づくりのための取り組みを行った。また、非常勤講師を配置し研究体制の強化を図った。	213
7. 教育支援センター沼木教室維持管理経費	954	教育支援センター「NEST」へ通級する児童生徒が、自然豊かな沼木教室の環境で安全・安心に活動できるよう、施設の維持管理に努めた。	213
8. 小学校教育用コンピュータ管理経費	55,629	小学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	215

9. 中学校教育用コンピュータ管理経費	23,781	中学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	215
------------------------	--------	--	-----

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 61,845 千円
決算額 60,388 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				60,388

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 講演会研修開催事業	619	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伊勢市人権講演会 藤田 正さん（音楽評論家・音楽プロデューサー）を講師として招き、平成22年12月4日にいせトピアで開催（約200人の参加）し、人権に対する正しい理解と認識を広めさせることができた。 ○ 第5回伊勢市人権教育をすすめる市民の集い 山本健治さん（フリーライター）を講師として招き、平成22年7月27日にいせトピアで開催（約325人の参加）し、人権に対する正しい理解と認識を広めさせることができた。 ○ 管理職（教頭）人権教育研修会 市内小・中学校での人権教育の取り組みをよりいっそう深めるため、管理職（教頭）を対象に平成22年9月3日に講演会、意見交換等の研修会を開催した。 	215
2. 人権教育研究委託経費	1,000	人権・同和教育に関わる事業の充実を図るため、人権・同和教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託した。	215
3. 同和問題地域啓発推進事業	366	市内の4地域を指定し、推進委員を委嘱して、6回の合同研修を開催した。その後、推進委員がリーダーとなって、各地域住民の同和問題への正しい理解を広めるため、啓発活動を行った。	215
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	662	小学校区を単位として、人権・同和教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めた。 今年度、御薊小学校区を設立し、結成団体数19団体から20団体となった。	215
5. 中学校区ヒューマン・ライツ推進事業	480	それぞれの中学校区で人権教育の指導の改善・充実について実践研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ授業交流に努めた。平成22年度は、倉田山・厚生・沼木・五十鈴・二見・北浜中学校区を研究指定校に指定し実施した。	215
6. リーダー養成研修事業	180	指導者となるべき教職員の資質向上のため、様々な人権課題に関する知識を習得し、その解決に向けた実践の充実をめざし研修会を実施した。	215

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 17,069 千円
 決算額 15,520 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
839				14,681

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 教育集会所人権教育事業	662	人権問題に関する理解と認識を深めるため、子ども人権スクール、成人学習講座などを開き、市民に学習の場と機会を提供した。	頁 215

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 560,229 千円
 決算額 522,523 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
70,411	18	25,500	1,480	425,114

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 小学校備品購入経費	5,617	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	頁 217
2. 小学校整備事業	119,058	小学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・屋内運動場飛散防止フィルム貼付工事(明倫小ほか) 7,400千円 ・太陽光発電システム設置工事(中島小ほか) 67,052千円 ・扇風機整備工事(神社小) 1,207千円 ・校舎外壁塗装改修工事(大湊小) 1,406千円 ・防球ネット設置工事(明倫小) 4,572千円 ・建具シーリング改修工事(北浜小) 714千円 ・給食室屋根防水塗装工事(二見小) 2,115千円 ・プール改修工事(東大淀小) 4,718千円 ・調理室配線増設工事(北浜小) 95千円 ・保健室シャワー整備工事(進修小) 1,533千円 ・下水道接続工事(明倫小ほか) 2,588千円 ・運動場改修工事(豊浜西小) 13,804千円 ・洋式トイレ設置工事(豊浜西小ほか) 3,065千円 ・下水道接続に伴うトイレ改修工事(厚生小) 4,442千円 ・浄化槽清掃業務委託(明倫小ほか) 4,095千円 ・測量業務委託(豊浜西小) 252千円	217

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 68,538 千円
 決算額 60,787 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,666			62	59,059

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経費	10,979	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 24校 (伊勢市立小学校全校) ・整備額 9,435,183円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 11校 (伊勢市立進修小学校ほか) ・整備額 1,235,271円 ○特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに適応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 3校 (伊勢市立進修小学校ほか) ・整備額 308,679円	217
2. 学校図書館充実経費	8,111	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 24校 (伊勢市立小学校全校)	217
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	35,078	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費・修学旅行費・学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 568人 (要保護 6人、準要保護 562人)	217
4. 遠距離児童通学費扶助事業	1,792	遠距離通学を行っている児童の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の助成を行った。 対象校：中島小学校、佐八小学校、二見小学校	217

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学力向上推進事業	283	小学校2校において、「継続的な授業改善の研究」と「QUを実施することで、学習集団の状態を理解し、その状態に応じた単元構成や授業展開の研究」の2つの研究を行い、児童の学習意欲と学力の向上に努めた。	219
2. 独創的な教育活動推進事業	1,640	小学校5校において、児童一人ひとりの個性を伸ばし、いきいきとした学習活動を行うため、各校の実態にあった創造的な教育活動を推進した。	219

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 267,100 千円
 決算額 249,818 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
35,592		7,000	513	206,713

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校備品購入経費	2,802	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	219
2. 中学校整備事業	40,500	中学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・太陽光発電システム設置工事（御園中） 17,782千円 ・体育倉庫ほか改築工事（倉田山中ほか） 14,618千円 ・扇風機整備工事（北浜中） 1,249千円 ・屋内運動場屋根塗装工事（宮川中） 5,670千円 ・洋式トイレ設置工事（二見中） 1,115千円 ・体育倉庫完了検査手数料（倉田山中ほか） 66千円	219

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 101,902 千円
 決算額 94,692 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,129	820			92,743

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	7,695	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 12校（伊勢市立中学校全校） ・整備額 6,966,111円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備（理科教育振興法に基づく）を国の補助を受け整備した。 ・整備校 3校（伊勢市立厚生中学校ほか） ・整備額 633,780円 ○特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 1校（伊勢市立小俣中学校） ・整備額 94,620円	219
2. 学校図書館充実経費	6,507	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 12校（伊勢市立中学校全校）	219

3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	34,202	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 366人 (要保護 10人、準要保護 356人)	219
-------------------------	--------	--	-----

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 学力向上推進事業	189	中学校2校において、「継続的な授業改善の研究」と「QUを実施することで、学習集団の状態を理解し、その状態に応じた単元構成や授業展開の研究」の2つの研究を行い、生徒の学習意欲と学力の向上に努めた。	221
2. ALT活動事業	40,553	英語を母国語とする青年を招致し、中学校の英語科担当教員や小学校の外国語活動の時間に担当教員とともに英語活動にあたり国際理解教育の促進を図った。 JETプログラムALT: 3人 民間派遣ALT: 7人	221
3. 自分発見!中学生・地域ふれあい事業	1,360	中学校2年生を対象として、学校、家庭、地域社会が丸となって地域ぐるみで職場体験活動を組織し「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。市内中学校で3日間の職場体験学習を実施した。	221
4. 独創的な教育活動推進事業	1,829	中学校4校において、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、いきいきとした学習活動を行うため、各校の実態にあった創造的な教育活動を推進した。	221

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 3. 中学校建設費

(単位 千円)

予算現額 1,930,731 千円
決算額 1,921,527 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
875,483	64,000	920,900	7,787	53,357

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 厚生中学校校舎改築事業	987,136	安全安心な学校づくりのため、平成20年から平成22年の3か年で校舎改築事業を計画した。 平成22年度については新校舎を完成させ、運動場整備等を行った。また、環境面に配慮し、雨水利用設備、太陽光発電システムを設置した。	221
2. 五十鈴中学校校舎改築事業	934,391	安全安心な学校づくりのため、平成20年から平成22年の3か年で校舎改築事業を計画した。 平成22年度については新校舎を完成させ、運動場整備等を行った。また、環境面に配慮し、雨水利用設備、太陽光発電システムを設置した。	221

(款) 11. 教育費 (項) 4. 幼稚園費 (目) 1. 幼稚園費

(単位 千円)

予算現額 186,256 千円
 決算額 178,280 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,877			18,133	155,270

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 幼稚園整備事業	4,218	伊勢市内の幼稚園施設及び学習環境の一層の充実を図った。 屋根改修工事(小俣幼) 4,218千円	頁 221
2. 幼稚園備品購入経費	513	幼稚園管理、事務処理など幼稚園運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、幼稚園環境の充実を図った。	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 98,425 千円
 決算額 97,521 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				97,521

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 社会教育推進事業	1,058	1. 社会教育委員兼公民館運営審議会委員 市の社会教育の推進を図り、社会教育に関する諸事業に対して協議した。 2. 伊勢市・飯田市婦人会交流事業 両市の友好親善を深めるとともに、婦人会活動の充実と明るいまちづくり活動を全市的に推進するための相互研修として交流会を実施した。	頁 223
2. 婦人学級開設事業	1,002	修道・有緝第1・有緝第2・明倫・厚生・中島・早修・浜郷婦人会が開催する婦人学級活動に対する支援を行った。(平成22年度から「有緝」から「有緝第1」、「神久」から「有緝第2」、「一色」から「浜郷」に学級名変更となった。) 開講数 617回 延参加者数 6,242名	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 公民館費

(単位 千円)

予算現額 51,726 千円
 決算額 33,400 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,954			745	22,701

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公民館管理運営経費	28,199	市立公民館を市民が快適に利用できるよう、修繕等維持管理を行った。	223
2. 公民館補助金	5,201	地域において指定管理している御菌町内の市立公民館の修繕及び備品整備に係る経費の一部(2/3)を補助した。	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 59,174 千円
 決算額 35,535 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
402			689	34,444

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 文化講演会開催事業	800	積極的にプロの高度な文化や学術に触れることができるよう、3月にいっこく堂を招き、文化講演会「いっこく堂トークショー」を開催(参加者数376人)。文化の継承及び充実、学術向上を図った。	223
2. 市民芸能祭開催事業	1,300	10月から11月の日祝を中心に観光文化会館・伊勢市生涯学習センターにおいて、市内の舞台芸能75団体(うち新規メンバー8団体)、約1,690名が参加。約3,160人が鑑賞した。	223
3. 美術展覧会開催事業	1,225	第57回美術展覧会を平成22年11月2日～7日までの6日間にわたり開催。美術に対する理解を深めるため、会期中に三重県立美術館友の会との共催で美術セミナーを開催した。 出品点数 336点 観覧者数 約2,475人	225
4. 文化財保存整備事業補助金	360	指定文化財等の適正な保存管理を図るため、補助金を交付した。 【平成22年度対象事業及び市補助金決算額】 ○経蔵 部分修理事業 ・補助事業者 宗教法人 寂照寺 ・決算額 360千円	225
5. 造船資料保存調査経費	236	所管する旧市川造船所資料の価値を明らかにして、適切な保存を図るための調査を継続的に実施している。平成22年度は、船舶設計図等紙資料の調査を行った。	225

6. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	2,064	伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。 【交付先】 ・馬瀬狂言保存会他23団体	225
7. 文化財案内板設置事業	260	市内の旧跡等の文化財に対し、文化財案内板等を設置することにより、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図るためのものである。平成22年度は、大湊町に市指定天然記念物「弥栄の松」の案内板を設置した。	225
8. 二見浦保存管理計画運営経費	143	平成18年に指定された国名勝「二見浦」の適切な整備、活用及び運営を行うためのものである。平成22年度は名勝二見浦保存管理計画運営委員会を組織し、現状変更等の取扱いを調査審議するため、委員会を2回開催した。	225
9. 山田奉行所記念館特別展開催事業	460	山田奉行所友の会に委託して、山田奉行所に関連する特別展示を開催し、常設展示を補完した。 ・夏季特別展：「奉行所と年中行事」 小林・上條の大念仏羯鼓踊りと手筒花火 観覧者：484人 ・冬季特別展行事：「小笠原流弓馬術百々手式」 約70人 ・冬季特別展：「災害と山田奉行①火災」 605人	227
10. 全市博物館構想推進経費	217	博物館等の文化資産を紹介するためのマップ「伊勢まるごと博物館」を8,000部作成し、広く周知を図るため市内博物館等で配布した。	227

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 9,254 千円
決算額 8,685 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,685

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 青少年健全育成推進事業	1,679	1. 全国的に展開される青少年健全育成活動に合わせ、横断幕や懸垂幕を掲示し、啓発を行った。 2. 青少年が安心して暮らせる安全なまちをつくるため、また、さまざまな自然体験や生活体験で有意義に過ごせる受け皿を整えるために、青少年育成市民会議への事業委託、地域指導者の育成など、地域主導型による青少年健全育成活動を実施した。 ○平成22年10月23日、地域の青少年健全育成活動者を対象に、研修会「青少年の健やかな成長を願う」を開催。伊勢市ならびに南勢志摩エリアの活動者71人が出席した。	227
2. 飯田市交流会実施事業	1,096	山のまち飯田市と海に面した伊勢市の小学生が児童会活動や学校内外の生活、住んでいる地域社会について交流し、友情と連携の輪を強め、次代のリーダーとしての親睦を深めることを目的に実施した。 平成20年度より夏季の隔年訪問交流とし、22年度は伊勢市児童代表が飯田市を訪問した。 ○平成22年8月3～4日、伊勢市の小学生36人と飯田市の小学生28人が、ラフティング体験や水引体験、児童会発表等を行うことにより交流を深めた。	227

3. 成人式開催事業	1,510	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、成人の日にちなみ、平成23年1月9日、三重県営サンアリーナにて、「新成人のつどい」を開催した。 新成人代表26人からなる実行委員会において企画運営を行い、地元企業から協賛をいただき、思い出の写真上映や実行委員作成の記念冊子を配布した。 成人者数 男672人 女657人 計1,329人 出席者数 男592人 女566人 計1,158人	227
4. 青少年対策一般経費	65	平成23年2月14日、伊勢市青少年問題協議会を開催し、22年度の青少年育成活動の確認と、23年度の方針を決定した。	227
5. 相談センター管理運営事業	4,335	街頭指導を681回実施し、延2,012名が参加した。合計389名の少年(内女子135名)を指導した。 環境浄化活動として、市内、コンビニ、カラオケ等に立入調査を11回実施し、152名が参加し、117箇所を調査を行った。	227

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 193,751 千円
決算額 161,280 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,296				157,984

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 図書整備経費	27,972	閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料を購入し、図書館利用の促進を図った。 購入図書資料 伊勢図書館 7,834冊 小俣図書館 5,563冊 購入視聴覚資料 伊勢図書館 37点 小俣図書館 45点	頁 227
2. ブックスタート支援事業	1,782	子育て支援の一環として、家庭内で絵本を通じた親子の交流のきっかけとなるよう、対象乳幼児に絵本の2冊入ったブックスタートパックを配付した。 配付数 1,060人	227
3. 図書館運営経費	131,526	伊勢市立伊勢図書館では、平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を導入している。 伊勢市立小俣図書館でも、伊勢図書館の指定管理者制度更新に合わせ、平成21年4月から指定管理者制度を導入している。 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種図書館行事を開催するなど、市民の図書館利用促進に取り組んだ。	227

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 14,249 千円
 決算額 13,561 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,123		547	11,891

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 生涯学習推進事業	9,716	1. 生涯学習講座の実施 生涯学習のきっかけづくりの場として、公民館等を利用し住民の生涯学習への参加・啓発を目的とし、年間講座として各種教室を実施した。 (小俣公民館講座) 全 13 講座 受講者数 306 名 (二見公民館) 全 7 講座 受講者数 145 名 (御菌公民館) 全 8 講座 受講者数 216 名 2. 団体への助成 小俣、二見、御菌地域において、サークル活動や文化祭等生涯学習事業に取り組む3文化協会の活動を補助し、地域における文化活動を支援した。	頁 227
2. 放課後子どもプラン推進事業	1,500	放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、教育委員会と福祉部局が連携を図り、総合的な放課後対策として実施している。 教育部局が実施する「放課後子ども教室」は、地域で活動する団体にモデル地域を委託し、事業に取り組んだ。 (モデル地域) ・おばた子どもチャレンジ教室 (委託先: 小俣町文化協会) ・いすずウキウキ教室 (委託先: 総合型地域スポーツクラブ「いすずウキウキクラブ」) ・ふたみ子どもチャレンジ教室 (委託先: 二見町子ども会育成会連絡協議会)	227

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 7. 生涯学習センター費

(単位 千円)

予算現額 92,365 千円
 決算額 90,788 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,936			824	82,028

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習センター施設維持管理経費	90,788	1. 伊勢市生涯学習センター(いせトピア) 平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため指定管理者制度を導入し、平成21年4月からは第2期目の指定管理期間となった。(平成21年4月～平成26年3月) 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んだ。 2. 二見生涯学習センター 生涯学習センターを市民が快適に利用できるよう、修繕等維持管理を行った。	229

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 8. 学習等供用施設費

(単位 千円)

予算現額 14,776 千円
 決算額 13,032 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,010	10,022

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学習等供用施設維持管理経費	13,032	施設を市民が安心し、快適に利用できるよう維持管理に努めた。	229

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 9. 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 109,579 千円
 決算額 109,220 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,000		52,200	4,889	37,131

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光文化会館施設維持補修経費	70,040	施設運営に必要な維持補修工事として、平成21年度から繰越の外壁改修工事と舞台吊物設備工事を施工した。	229
2. 地域の文化・芸術活動支援事業	2,200	財団法人地域創造から「地域の文化・芸術活動助成事業」の助成金を受け、指定管理者が行うアウトリーチ活動を伴う公演に対し支援を行った。	229

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 82,277 千円
 決算額 80,276 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			14,763	65,513

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童生徒保健管理事業	76,640	学校保健安全法に基づく健康診断として、児童生徒及び園児に対し、校医等による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、児童生徒の健康管理に努めた。	231
2. 教職員健康管理事業	2,633	県費負担教職員に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	231

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 565,640 千円
 決算額 552,664 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,000		111	551,553

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校給食管理経費	123,727	「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	231
2. 学校給食施設維持管理経費	3,478	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の維持管理に努めた。	231
3. 給食施設整備経費	2,072	老朽化による備品の更新、及び衛生を維持するために施設の改修を行った。	231
4. 中学校給食共同調理場管理経費	129,578	中学校給食共同調理場における「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	231
5. 食育推進事業	1,124	三重県教育委員会の委託事業として「栄養教諭を中核とした食育推進事業」を実施し、市内3校(城田小、今一色小、小俣中)を実践中心校とし、地域の人材を活用した食に関する指導、地域の食に関する文化や環境を生かした体験活動、地場産物を効果的に活用した指導等、子どもの実態や地域の特性を生かした取り組みを実施した。	231

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 70,854 千円
 決算額 62,953 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,164	59,789

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯スポーツ推進事業	9,257	体育祭を筆頭に、ソフトボール、バレーボール、マラソン、ウォーキング、ハイキング等、様々なスポーツ大会を開催した。延べ約11,000人の参加者があり、地域住民の健康の維持・増進と生涯スポーツの普及を図ることができた。	233
2. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	5,650	生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツに参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。 なお、平成22年度においては市内に6団体あり、会員数は総数約2,400人であった。 また、平成22年11月23日(火)には、市内全ての総合型地域スポーツクラブが参加する交流会を開催し、約150人が参加した。	233
3. 集客誘致大会開催事業	14,307	集客による伊勢市への経済波及効果を図り、全国規模の大会を開催した。 お伊勢さん健康マラソン大会(当日参加者数7,926人)、全日本ジュニア体重別相撲選手権大会(150人)、選抜社会人野球大会(500人)、神宮奉納全日本ソフトテニス大会(316人)の4大会を開催した。 第22回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会については、東日本大震災の影響により中止となった。	233

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 138,851 千円
 決算額 130,397 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
993		24,700	36,238	68,466

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 体育施設整備事業	41,738	主な事業 ①倉田山公園野球場 耐震調査業務委託 2,363千円 ②市宮庭球場 耐震調査業務委託 1,155千円 擁壁改修工事 8,906千円 コート張替工事 18,345千円 ③市民武道館 耐震補強工事 8,216千円	233

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 1. 農地・農業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 2,461 千円
 決算額 2,411 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,411

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 農地・農業用施設災害復旧事業	2,411	平成22年10月9日に発生した豪雨により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。 ・農業用排水路修繕(その4)工事ほか2件 ・重機借上 上野町地内ほか7件	頁 235

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 3. 漁港災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 7,121 千円
 決算額 7,118 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,527		671	2,920

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 漁港等災害復旧事業	7,118	平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による津波の影響で、周辺海域に漂流していた海苔網やロープなどを撤去し、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。 ・伊勢地区海苔網撤去業務委託	頁 235

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 1. 道路橋梁災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 13,594 千円
 決算額 12,880 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		9,100	1,765	2,015

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路橋梁災害復旧 事業	12,880	平成21年10月7日から8日の台風18号、平成22年2月15日の降雨、そして平成22年10月8日から10日の豪雨により被災した法面の土砂撤去を行い、二次災害の抑止及び避難路の確保を図るため、復旧を進めた。 (概要) 道路災害復旧 ①現年分 3件 L=30.7m 三津18号線 前山町地内公道 上野町地内公道 ②平成21年度から繰越 1件 L=21.5m 三津18号線	235

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 39,427 千円
 決算額 21,504 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,538		7,000	942	24

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川災害復旧事業	21,504	平成21年10月7日から8日の台風18号、平成21年11月10日から11日の豪雨、平成22年9月27日から28日の豪雨、そして平成22年10月8日から10日の豪雨により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。 (概要) 河川災害復旧 【補助分】 ①現年分 4件 L=45.1m 大倉川左岸 亀谷郡川左岸 (平成23年度へ繰越) 大倉川左右岸 (平成23年度へ繰越) 小田古川左岸 (平成23年度へ繰越) ②平成21年度から繰越 4件 L=103.8m 朝川支川右岸 朝川左岸 五十鈴川右岸 (その1) 五十鈴川右岸 (その2) 【単独分】 ①現年分 1件 L=24.6m 大倉川左右岸 (その2) (平成23年度へ繰越) ②平成21年度から繰越 2件 L=30.9m 朝川支川 朝川左岸 (その2)	235

(款) 12. 災害復旧費 (項) 3. 文教施設災害復旧費

(目) 1. 公立学校施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 9,458 千円
 決算額 9,456 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				9,456

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公立学校施設災害復旧事業	9,456	平成22年10月9日の大雨により被災した教室の木製床板を補修した。また図書室及びパソコン室の絶縁不良を復旧し、施設の機能復旧を図った。 ・床貼替え復旧工事 (有緝小) 9,215千円 ・図書室及びパソコン室絶縁不良復旧工事 (有緝小) 241千円	237

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 4,997,152 千円
 決算額 4,997,151 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			50,413	4,946,738

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	4,995,784	通常償還に加え、伊勢市宇治山田港旅客ターミナルの施設廃止に伴い起債の繰上償還を行った。 このことにより、償還にかかる利子の軽減を図った。 利子軽減額 28,941,480円 償還額合計 4,995,784,103円 通常償還額 4,433,377,103円 繰上償還額 562,407,000円	239

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	1,367	過去に三重県より市が借入した災害援護資金県貸付金について、それぞれ県に償還した。 (施策の概要) 災害援護資金県貸付金 … 1,366,414円 ・平成22年度上半期償還額 … 1,246,414円 ・平成22年度下半期償還額 … 120,000円 県貸付要綱に基づき、上記のとおり災害援護資金貸付金の償還を行った。	239

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 2. 利子

(単位 千円)

予算現額 737,089 千円
 決算額 734,540 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			18,878	715,662

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債利子	734,513	過去に借入れた市債の利子の支払いを行った。 ・借入利率 0.2%~6.6% ・借入年度 昭和60年度~平成22年度	239

【国民健康保険特別会計】

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,556,701 千円
 決算額 7,501,254 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,138,842	318,850			5,043,562

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,501,254	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 513,267件 (2) 年度平均被保険者数 33,984人	255

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 2. 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 390,000 千円
 決算額 383,200 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			196,000	187,200

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養給付費	383,200	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 25,948件 (2) 年度平均被保険者数 1,436人	255

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 75,600 千円
 決算額 73,457 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,000	2,000			52,457

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	73,457	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 9,586件	255

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 4. 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 3,480 千円
 決算額 2,242 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,000	1,242

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 退職被保険者等療養費	2,242	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 393件	頁 255

(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 65,520 千円
 決算額 57,110 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,020				54,090

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 出産育児一時金	57,110	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 136件	頁 257

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 13,800 千円
 決算額 10,700 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				10,700

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 葬祭費	10,700	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 214件	頁 257

(款) 8. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 154,217 千円
 決算額 130,073 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,937	22,937			84,199

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査等事業費	130,073	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 13,932件	261

【老人保健医療特別会計】

(款) 2. 医療諸費 (項) 1. 医療諸費 (目) 1. 医療給付費

(単位 千円)

予算現額 4,200 千円
決算額 1,549 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			719	830

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市負担額 (医療給付費)	1,549	老人保健法の改正により、平成20年4月より後期高齢者医療制度が施行されている。改正前の平成20年3月31日までの診療にかかる再審査分等について精算額を支出した。	273

【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金

(項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位 千円)

予算現額 2,173,346 千円
 決算額 2,144,668 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,144,668

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	2,144,668	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 933,345千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 209,422千円 ・保健事業負担金 広域連合の行う保健事業経費の市分担金 11,018千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費(共通経費)の市分担金 43,522千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者に係る医療給付費の1/12の額 947,361千円	頁 281

【介護保険特別会計】

○保険事業勘定

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

(目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 9,490,618 千円
 決算額 9,428,424 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,200,402	1,366,216		2,822,533	3,039,273

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 居宅介護サービス給付費負担金	4,116,831	要介護被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給付費 支給件数 80,585件	頁 295
2. 地域密着型介護サービス給付費負担金	748,422	要介護被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する保険給付費 支給件数 4,339件	295
3. 施設介護サービス給付費負担金	3,114,932	要介護被保険者が受けた施設サービス等に対する保険給付費 支給件数 12,755件	295
4. 居宅介護福祉用具購入費負担金	13,464	要介護被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給付費 支給件数 552件	295
5. 居宅介護住宅改修費負担金	43,128	要介護被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費 支給件数 416件	295
6. 居宅介護サービス計画給付費負担金	452,570	要介護被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計画作成に対する保険給付費 支給件数 33,723件	295
7. 介護予防サービス給付費負担金	294,103	要支援被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給付費 支給件数 11,638件	295
8. 地域密着型介護予防サービス給付費負担金	9,302	要支援被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する保険給付費 支給件数 129件	295
9. 介護予防福祉用具購入費負担金	3,000	要支援被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給付費 支給件数 154件	295
10. 介護予防住宅改修費負担金	24,049	要支援被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費 支給件数 227件	295

11. 介護予防サービス 計画費負担金	37,199	要支援被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計 画作成に対する保険給付費 支給件数 8,659件	295
12. 高額介護サービス 費負担金	146,211	要介護被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額 を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 15,839件	295
13. 高額介護予防サー ビス費負担金	57	要支援被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額 を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 74件	295
14. 特定入所者介護 サービス費負担金	403,343	低所得の要介護被保険者が居宅サービス（短期入所に限 る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費 等に係る費用の一部に対する保険給付費 支給件数 12,512件	297
15. 特定入所者介護予 防サービス費負担 金	251	低所得の要支援被保険者が居宅サービス（短期入所に限 る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費 等に係る費用の一部に対する保険給付費 支給件数 43件	297
16. 高額医療合算介護 サービス費負担金	21,444	要介護被保険者が支払った介護保険サービスに対する自 己負担額と医療保険の自己負担額を合算した時、基準額を 超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 665件	297
17. 高額医療合算介護 予防サービス費負 担金	118	要支援被保険者が支払った介護保険サービスに対する自 己負担額と医療保険の自己負担額を合算した時、基準額を 超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 6件	297

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費 (目) 1. 介護予防事業費

(単位 千円)

予算現額 113,016 千円
決算額 94,369 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28,927	14,464		28,018	22,960

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 特定高齢者把握事 業	90,565	65歳以上の市民を対象に要支援、要介護状態に移行す ることを予防するために生活機能評価を実施し、特定高齢 者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）の早期把 握に努めた。15,060人が受診し808人の特定高齢 者が把握できた。	297
2. 運動器機能向上事 業	682	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特 定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）と なり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を 対象に転倒骨折予防教室を開催した。筋力トレーニングや 体操等を行い、転びにくい体づくりに取り組んだ。 延べ92回、275人の参加を得て要介護状態になるこ とを予防した。	297

3. 口腔機能・低栄養 改善事業	117	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に口腔訓練教室を実施した。口の健康を保つための相談や嚥下機能が向上する訓練などを集団指導や個別の相談で行った。 延べ20回、38人の相談指導を行い、口腔機能の向上を図った。 また栄養改善が必要と思われる市民を対象に低栄養状態を改善するための食べ方や食事作りなどの個別相談を行った。 延べ10回、19人の相談指導を行った。	297
4. 認知症予防事業	945	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に脳活性化教室を実施した。脳機能検査により脳の働き具合を把握し脳を刺激する生活改善リハビリや音楽療法などを行い認知症予防に努めた。 延べ61回、84人の参加があり、参加者の脳機能の改善・維持がみられるなど、要介護状態になることを予防した。	297
5. 訪問型介護予防事業	2	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められるが、通所が困難な市民を対象に訪問指導を実施した。保健師や歯科衛生士などが延べ10人に相談指導を行った。	297
6. 介護予防普及啓発 事業	1,992	65歳以上の高齢者を対象に、中央保健センター及び地域において介護予防講座、すこやか教室（老人クラブ）、通所型介護予防事業、訪問指導などを実施し、延べ290回、3,551人に要介護状態になることを予防するための様々な知識の普及啓発を行い、介護予防の推進に努めた。	297
7. 地域介護予防活動 支援事業	66	地域における介護予防に関する自主的な活動が実施されるよう認知症予防や転倒骨折予防を目的とした自発的な活動の育成・支援を行った。 延べ368回、4,349人が活動を行い、その内の延べ66回、893人に支援を行い、活動が継続された。	297

(款) 3. 地域支援事業費

(項) 1. 地域支援事業費

(目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 124,377 千円
決算額 118,402 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
50,350	25,175		5	42,872

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	18,934	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等（施設入所者を除く）に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。 クーポン券配布者数 457人	299

2. 介護給付費等費用 適正化事業	5,588	利用者へ給付費通知書を発送することで、適切な介護サービスの利用を促した。 発送回数 4回	299
-------------------------	-------	---	-----

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防ケアマネジメント事業	86	要支援・要介護状態になる恐れがある高齢者（二次予防事業対象者）に対して、保健師が家庭訪問等を通じて、介護予防事業の参加勧奨を行い、必要な対象者にケアプラン作成を行った。	299
2. 総合相談事業・権利擁護事業	4,461	高齢者の生活を福祉、介護など総合的に支えるため、高齢者本人及び家族からの相談に対して、さまざまな制度や社会資源の紹介や支援を行った。また、高齢者虐待、成年後見制度等の啓発を行った。	299
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	3,313	包括的・継続的なケアマネジメントが行えるよう、関係機関との関係づくりに努めるとともに、地域の介護支援専門員への助言・支援及び資質向上研修への協力を行った。	299
4. 地域包括支援センター運営事業	34,024	地域包括支援センターを委託し、保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図った。	299
5. 在宅介護支援事業	6,304	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行った。	299
6. 食の自立支援事業	8,388	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で買い物と調理が困難な者に対し、栄養のバランスがとれた食事を定期的に提供するとともに安否確認を行い、要介護状態への進行の予防・生活支援を行い、高齢者への福祉の増進を図った。	299
7. 高齢者住宅等安心確保事業	10,346	高齢者の生活面・健康面での不安に対応するため、高齢者向け有料賃貸住宅正邦苑竹ヶ鼻、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し生活指導・相談、安否確認、一時的な家事支援、緊急時の対応などのサービスを提供することによって高齢者が安全かつ快適な生活を営むことができるよう自立した在宅生活を支援した。 援助内容 述べ件数 生活指導・相談 13件 安否確認 28,111件 一時的家事支援 2,148件 緊急時対応 86件 関係機関との連携 204件 その他必要な援助 17件 計 30,579件	299

○介護サービス事業勘定

(款) 1. 事業費 (項) 1. 介護予防サービス事業費

(目) 1. 介護予防サービス事業費

(単位 千円)

予算現額 35,690 千円
 決算額 35,095 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			17,366	17,729

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防サービス 計画作成事業	14,285	介護認定審査会において、要支援1または要支援2と認定された要支援者に対して、適切な介護予防ケアマネジメントを行い、要支援状態の改善や重症化予防を行った。	305

【費目別不納欠損の状況】

(単位 人、円)

費目	所管課	対象人数	不納欠損額	摘要
○一般会計				
市税				
市民税	課税課(収税課)	1, 144	49, 841, 786	時効等による
固定資産税	課税課(収税課)	736	101, 299, 574	時効等による
軽自動車税	課税課(収税課)	836	5, 466, 600	時効等による
都市計画税	課税課(収税課)	736	15, 754, 172	時効等による
分担金及び負担金				
保育所負担金	こども課	14	1, 025, 770	時効等による
使用料及び手数料				
道路占用料	維持課	2	15, 720	時効等による
住宅使用料	建築住宅課	4	2, 375, 660	時効等による
財産収入				
普通財産貸付収入	二見総合支所 地域振興課	1	85, 389, 041	時効等による
諸収入				
放課後児童クラブ利用料	こども課	2	12, 950	時効等による
契約解除に伴う精算金	監理課	1	121, 800	時効等による
遅延損害金	二見総合支所 地域振興課	1	31, 686, 982	時効等による
一般会計 計		3, 477	292, 990, 055	
○国民健康保険特別会計				
国民健康保険料				
国民健康保険料	医療保険課	1, 476	167, 230, 837	時効等による
国民健康保険税				
国民健康保険税	医療保険課	126	9, 320, 000	時効等による
国民健康保険特別会計 計		1, 602	176, 550, 837	
○後期高齢者医療特別会計				
後期高齢者医療保険料				
後期高齢者医療保険料	医療保険課	35	1, 131, 479	時効等による
○介護保険特別会計				
保険料				
介護保険料	介護保険課	336	10, 519, 100	時効等による
○農業集落排水特別会計				
使用料及び手数料				
西地区過年度使用料	上下水道総務課	2	49, 000	時効等による